



Fuchu City
Culture and the Arts
Initiative

府中市 文化芸術 推進計画 2018-2025

平成30年 3月 府中市

はじめに



府中市長
高野律雄

このたび、本市の長い歴史を背景とする文化資産や自然、優れた文化施設を後世に引き継ぐとともに、新たな文化を生み出すことを視点に、平成30年度から平成37(2025)年度を計画期間とする「府中市文化芸術推進計画」を策定しました。

本市では、平成20年度に策定した府中市文化振興計画において、文化振興の考え方や方向性を示すとともに、文化振興施策の全体像を整理し、様々な施策を展開してまいりました。その施策の一つである「市民文化の日」では、市と施設管理者が連携し催しを企画して、大人から子どもまで多くの市民が、公共施設を訪れて文化・芸術に触れています。

文化・芸術は、人々の豊かな感性を育み、深い喜びと感動をもたらすとともに、他者との共感を通じて相互理解を促進するなど、市民生活の安定と成熟の原動力となる重要な役割を担っています。文化・芸術によるまちづくりを推進していくためには、市民をはじめ団体、企業、学校、地域など文化・芸術に関わる全ての方々との連携が不可欠です。

府中市文化芸術推進計画は、前計画策定から10年が経過したことによる環境やニーズの変化を踏まえ、さらに本市の強みを伸ばしていくため、協働による取組を盛り込みました。この計画に沿って、「人とコミュニティをはぐくむ文化のまち」の実現に向けて、文化に関する施策を総合的かつ計画的に推進してまいります。

計画の策定にあたりまして、ご審議いただきました府中市文化振興計画検討協議会の皆様、市民意識調査並びにパブリックコメント等を通じてご意見をいただきました市民の皆様にご感謝申し上げますとともに、今後の計画推進に向けてご理解とご協力をお願いいたします。

府中市 文化芸術 推進計画

2018-2025

Fuchu City
Culture and the Arts
Initiative

目次

Chapter	1	第1章 計画の概要	Page	2
	1-1	策定の背景		2
	1-2	策定の目的		3
	1-3	計画の位置付け		4
	1-4	計画の期間		4
	1-5	計画策定の体制		5
	1-6	計画における文化・芸術の範囲		6
Chapter	2	第2章 府中市の文化的特徴	Page	7
	2-1	歴史・文化財		7
	2-2	充実した文化・芸術環境		8
	2-3	魅力的な景観		9
Chapter	3	第3章 計画の方向性	Page	10
	3-1	基本理念		10
	3-2	施策体系		11
Chapter	4	第4章 具体的な施策の展開	Page	12
	基本施策1	誰もが気軽に身近なところで文化・芸術に触れ、 喜びと感動を享受できるまちづくり		12
	①	誰もが参加できる活動や体験、鑑賞活動の拡充		13
	②	子どもたちの文化創造体験の拡充		14
	③	文化に対する支援環境の整備		16

基本施策2	文化・芸術の担い手育成と それを支える環境をはぐくむまちづくり	18
	① 伝統芸能や市民の文化・芸術活動の担い手育成	19
	② 地域の芸術家に対する支援	21
基本施策3	歴史と伝統により培われた府中固有の文化を大切にし、 新たな文化を創造するまちづくり	23
	① 文化財の保存・活用	24
	② 地域文化の継承と活性化	26
	③ 歴史、自然、文化が一体化した魅力的な景観の保全とまちの形成	27
基本施策4	市内外から人々が集い、文化を通して 交流とにぎわいが生まれるまちづくり	29
	① 文化資源を活用した府中の魅力発信	30
	② 地域社会での連携及び交流機会の充実	31
	③ 多文化共生の推進	32
Chapter	5 第5章 計画推進に向けて	Page 34
	5-1 計画の推進体制	34
	5-2 計画の進行管理	35
	資料編	Page 37

Fuchu City
Culture and the Arts
Initiative

府中市
文化芸術
推進計画
2018-2025

1

Chapter

第1章

計画の概要

1-1 策定の背景

拡大する文化・芸術に期待される役割

近年、日本を巡る環境は大きく変化しています。とりわけ、平成23年3月11日に起こった東日本大震災は、今もなお、その爪痕を大きく残しています。一方、震災直後から始まった文化・芸術活動による地域復興への働きかけは、文化・芸術がいかにより人々の心に響き、心を癒し、再び立ち上がる力になるか強く感じさせるものとなりました。

文化・芸術活動は、地域のつながりが希薄化する中で、ふたたび地域社会の絆を取り戻すための大きな役割を期待されています。府中市が目指す市民協働による「みんなで創る 笑顔あふれる 住みよいまち」の実現においても、文化・芸術の役割は、非常に重要なものです。

また、東日本大震災で一旦は減少した訪日外国人客が、平成28年には全国で約2,400万人と大幅に増加し、国際交流による地域活性化、地方創生の試みが進んでいます。平成31(2019)年に開催されるラグビーワールドカップ2019、翌32(2020)年に開催される東京2020オリンピック・パラリンピック(以下「東京2020大会」といいます。)は、こうした動きを更に強化していくものと想定されます。府中市は、東京2020大会の開催都市であり、加えて「ラグビーのまち府中」として、ラグビーとの関係性もとりわけ深い地域です。急激に拡大する異文化交流とそれによる地域経済の振興に寄与していくことも、文化・芸術の大きな役割のひとつです。

国の動向

国は、平成13年12月に文化・芸術の振興のための基本的な法律として、「文化芸術振興基本法」を制定しました。平成29年には、「文化芸術振興基本法の一部を改正する法律」が制定され、法律名が「文化芸術基本法」に改められました。改正の趣旨として、文化・芸術の振興にとどまらず、関連分野における施策を法律の範囲に取り込み、文化・芸術により生み出される様々な価値を文化・芸術の継承、発展及び創造に活用することが記されています。

また、平成27年5月に、閣議決定された「文化芸術の振興に関する基本的な方針(第4次基本方針)」では、文化の振興を、文化領域だけのものとして捉えるのではなく、地域社会や地域経済の振興、拡大に繋がるインフラとして再定義しています。

東京都の動向

東京都は、国の「文化芸術振興基本法」の制定を受け、平成18年5月に「東京都文化振興指針」を、平成27年3月には東京2020大会の開催やその先を見据えた、今後の芸術文化振興における基本指針となる「東京文化ビジョン」を策定しました。このビジョンは、東京都の文化プログラムの方針を示すとともに、今後10年間の東京都の芸術文化振興の基本指針、国際的に発信する東京の文化政策の世界戦略として位置付けられています。

1-2 策定の目的

府中市の歴史と文化・芸術

現在の府中市は、昭和29年に府中町、多磨村、西府村の1町2村が合併し誕生しました。市制施行により行財政の基盤が確立され、昭和30年代後半からの高度経済成長による市民生活の飛躍的な向上や人口の急増により、市民の文化・芸術活動が大きく発展しました。昭和40年代後半からは、文化センターを皮切りに、地域の文化活動の拠点となる施設の整備を進め、郷土の森博物館、府中の森芸術劇場、府中市美術館などの文化施設を建設しました。いまや府中市は多摩地区における文化・芸術の拠点的な地域となっています。

長い歴史を背景とした文化資産、武蔵野の豊かな自然、そして優れた文化施設とそこにおける文化・芸術活動は府中市の誇りです。これらを後世に引き継ぐとともに、更に新しい文化を生み出していくことが、活力ある市民生活の実現につながります。

府中市文化芸術推進計画の策定

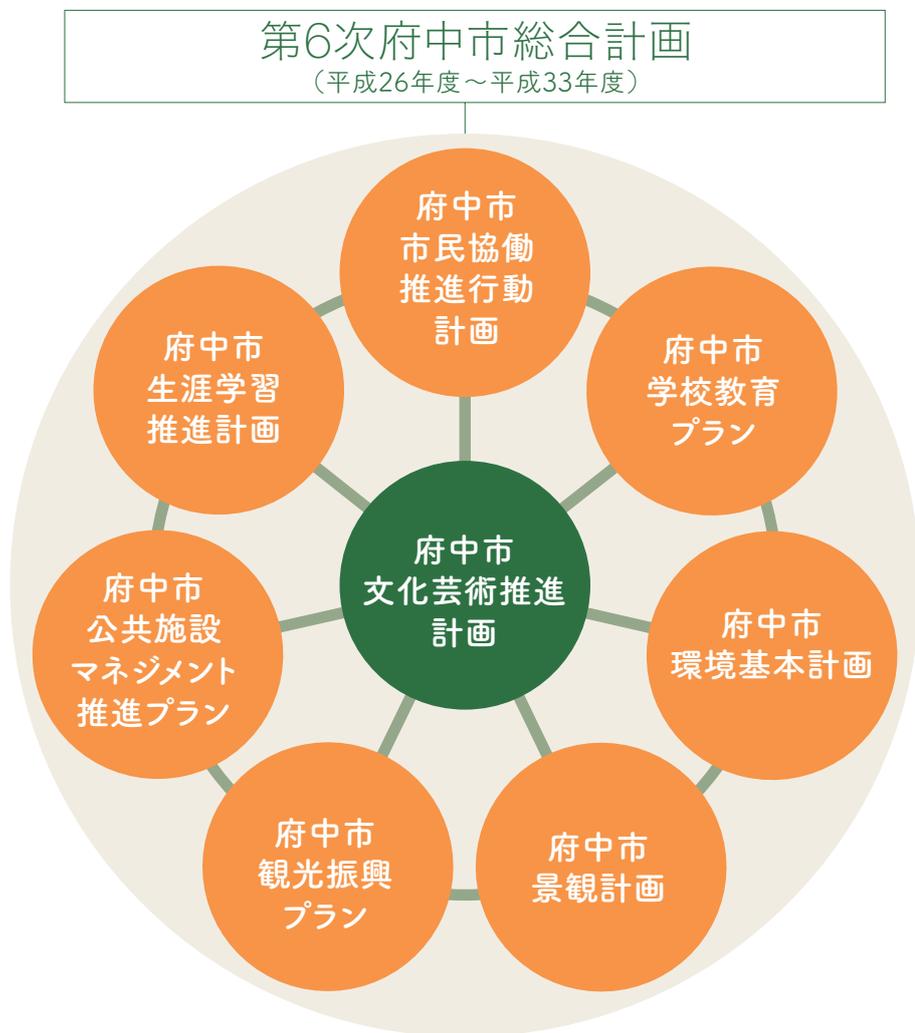
府中市では、平成13年の文化芸術振興基本法の制定に伴い、文化振興の考え方や方向性を示すとともに、府中市らしい文化都市の形成を目指すため、平成20年度から平成29年度までの10年間を計画期間とする府中市文化振興計画を策定し、市民一人ひとりが郷土に愛着を持ちながら、豊かな社会生活を送ることができるよう、文化・芸術に関する施策を進めてきました。

このたび、府中市文化振興計画の計画期間が終了することに伴い、引き続き府中市における文化に関する施策を総合的かつ計画的に推進することを目的に、本計画を策定しました。

計画の名称につきましては、府中市文化振興計画検討協議会からの答申及びその付言事項を尊重し、これまで10年間の社会情勢の変化や、文化・芸術の振興にとどまらず、関連分野の施策を法律の範囲に取り込み、文化・芸術により生み出される様々な価値を文化・芸術の継承、発展及び創造に活用しようとする文化芸術振興基本法の改正の趣旨を踏まえ、「府中市文化芸術推進計画」と改めました。

1-3 計画の位置づけ

本計画は、第6次府中市総合計画を上位計画とし、その他の分野別計画との整合を図り、府中市の文化・芸術のために必要な施策を計画的かつ継続的に推進するものです。



1-4 計画の期間

本計画の期間は、平成30年度から平成37(2025)年度までの8年間とします。



1-5 計画策定の体制

本計画の策定に際しては、府中市文化振興計画検討協議会を設置し、計画の方向性や取組など、計画全般にわたり協議及び意見交換を行い、素案を作成し答申しました。本計画は、この答申に基づき策定しています。

また、市民を対象とした「文化・芸術に関するアンケート調査」を行い、市内で活動する文化団体や文化施設にヒアリング調査を実施しました。

府中市文化振興計画検討協議会

府中市文化振興計画検討協議会は、学識経験者、市内芸術文化関係団体の代表者及び公募市民による構成で設置しました。

文化・芸術に関するアンケート調査

市民の文化・芸術に関する意識や行動について、現状把握や施策検討に活用するため、市内に在住する満18歳以上を対象にアンケート調査を実施しました。

調査概要

調査対象	府中市在住の満18歳以上の中から、3,000人を無作為に抽出
調査期間	平成29年4月18日(火)～平成29年5月2日(火)
調査手法	郵送による配布、郵送による回収
回収数・回収率	配布数3,000票、回収数1,163票、回収率38.8%
内容	文化財や伝統文化について、文化・芸術に関する活動について、文化施設の利用について、文化・芸術に関する情報について、文化・芸術に対する考えについて、文化プログラムについて、など

文化団体・文化施設へのヒアリング調査

市内で活動する文化団体や市内文化施設を対象に、文化活動・事業を行う上での現状と課題や今後の活動の方向性などについて、ヒアリング調査を実施しました。

調査概要

調査対象	府中市内で活動する文化団体等6団体、文化施設2施設
調査期間	平成29年6月12日(月)～平成29年7月20日(木)
調査手法	対面によるヒアリング調査
内容	活動状況、府中市で事業・活動を行う上での課題、今後の方向性、府中市の文化・芸術についての強み、など

1-6 計画における文化・芸術の範囲

本計画の文化・芸術の範囲は、府中市の歴史及び文化芸術基本法(平成29年6月23日改正)の第8条から13条までに規定されたものを主な対象とします。その他、計画期間中の社会情勢等の変化に応じ、その他の範囲についても対象とします。

① 文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踊その他の芸術 (法第8条)



② 映画、漫画、アニメーション及びコンピュータその他の電子機器等を利用した芸術(メディア芸術) (法第9条)



③ 雅楽、能楽、文楽、歌舞伎、組踊その他の我が国古来の伝統的な芸能 (法第10条)



④ 講談、落語、浪曲、漫談、漫才、歌唱その他の芸能 (法第11条)



⑤ 茶道、華道、書道、食文化その他生活に係る文化、囲碁、将棋その他の国民的娯楽並びに出版物及びレコード等 (法第12条)



⑥ 有形及び無形の文化財並びにその保存技術 (法第13条)



第2章

府中市の文化的特徴

2-1 歴史・文化財

古代からの長い歴史を背景に、市民が、歴史や文化財を誇りに思っています

今から1,300年ほど前の古代に、武蔵国の国府が置かれた府中市は、長い歴史と伝統があるまちであり、市民の多くもそれを誇りと思っています。また、四季を彩る祭や行事などが豊富にあります。

大國魂神社(くらやみ祭)、馬場大門のケヤキ並木など、まちの玄関口にある指定文化財の認知度は約9割と極めて高く、そのほか、古代以来の歴史文化遺産が数多く存在し、市民に親しまれています。

アンケート結果

- 73.1%の市民が市の文化財等に親しみを感じている。
- 府中市を文化的なまちだと思ふ人の理由は、1位「伝統的な祭、行事、芸能などが盛なこと」、2位「歴史的遺産などの文化財が保存されていること」。



大國魂神社



ケヤキ並木

府中市の指定文化財一覧

国指定・登録文化財

国指定文化財：9件

(馬場大門のケヤキ並木、武蔵府中熊野神社古墳、武蔵国府跡ほか)

国登録有形文化財：1件

(東京農工大学農学部本館)

国選択記録作成等の措置を講ずべき

無形の民俗文化財：1件

(武蔵府中の太鼓講の習俗)

文部科学省認定重要美術品：4件

(木彫仏像五体、古鏡四面、古写本三種ほか)

都指定文化財

都指定旧跡：9件 (分倍河原古戦場、府中高札場ほか)

都指定史跡：1件 (三千人塚)

都指定無形民俗文化財：2件

(双盤念仏、武蔵府中のくらやみ祭)

都指定有形文化財：5件

(大國魂神社本殿、旧府中町役場庁舎ほか)

2-2 充実した文化・芸術環境

市内に充実した文化・芸術環境が整備されています

府中市は、舞台芸術・美術・歴史など、優れた事業を行う文化施設を有し、都心から近い距離にありながら、市内で文化的催しを鑑賞している市民の割合が多くなっています。

市内で活動する文化団体やボランティア団体のヒアリングからも、機能面・設備面ともに文化施設について充実しているという声が多く聞かれました。

また、市民の文化・芸術活動の場として活用されており、数多くのサークル、グループなどが存在し、市内各地域で活動しています。

アンケート結果

- この1年間に何らかの文化的催しを鑑賞した人(82.7%)のうち、市内で鑑賞した人は74.2%。
- 府中の森芸術劇場、美術館、各文化センター、図書館など、市内文化施設をこの1年間に利用した人(75.7%)の利用目的の1位は「文化・芸術の鑑賞のため」。
- 文化・芸術を体験することや行うことは大切だと思う人は89.5%。
- この1年間に文化活動を行った人(41.8%)の、文化活動を行う環境の満足度は65.4%。

文化協会加盟団体数・ 社会教育関係団体数

府中市芸術文化協会加盟団体

37団体…平成29年5月現在
(発足当時は18団体)

社会教育関係団体(自主グループ)

1,020団体…平成29年4月30日現在

府中市の文化施設等一覧

劇場・ホール

府中の森芸術劇場
(どりーむホール2,027席、ウィーンホール522席、
ふるさとホール520席)

府中市生涯学習センター
(講堂 293席)

府中市市民会館
(コンベンションホール飛鳥 最大700席)

府中市市民活動センタープラッツ
(バルトホール 284席)

美術館・博物館

府中市美術館

府中市郷土の森博物館

ふるさと府中歴史館

国史跡武蔵府中熊野神社古墳展示館



府中の森芸術劇場 どりーむホール



府中市美術館

2-3 魅力的な景観

歴史、自然、文化が一体化した魅力的な景観がかたちづくられています

府中市には、多摩川や浅間山などの美しい自然環境に加え、長い歴史を背景とした大國魂神社の境内や馬場大門のケヤキ並木などの歴史的な風景が存在します。さらには、府中の森芸術劇場や府中市美術館、郷土の森博物館などの緑をいかした文化施設が整備されており、他にはない魅力的な景観を展開しています。

市内の文化団体やボランティア団体のヒアリングからも、府中市の魅力は、その美しい緑だという声が多く聞かれました。

アンケート結果(自由回答より抜粋)

- 「緑あふれるまちであり、大國魂神社周辺も他から見ると本当にすばらしい歴史を感じる所で、いつまでも保存して欲しいです。」
- 「公園が身近にたくさんあり、緑も豊富で素晴らしいと思います。」
- 「府中に引越してきて住みやすいまちだと実感しています。文化財、歴史、自然…どれをとってもステキだと思います。これからもこれらを大切にしながら一市民として楽しく暮らしていけることを望みます。」
- 「府中に引越して3年目、多摩川が良くて引越し、今から色々知りたいです。府中に来て良かったと感じています。」

文化活動団体、文化施設 ヒアリングより

- 「府中市は多摩川と武蔵野の明るく美しい自然に恵まれており、それは大きな魅力です。」
- 「博物館の敷地内の自然は、市民の憩いの場として定着しています。」
- 「府中は劇場を始め、公共施設に大変恵まれ、町並みも美しいところが魅力です。」
- 「府中には農地や緑が多く残っていることが魅力のひとつです。国史跡武蔵国府跡、大國魂神社などの歴史や文化財の価値を核に市内外に発信を行い、併せて多摩川や浅間山の自然をPRしていけるとよいと思います。」



浅間山



多摩川



府中市郷土の森博物館

3

Chapter

第3章

計画の方向性

3-1 基本理念

府中市の文化・芸術に関する施策の推進に当たっては、第6次府中市総合計画の文化・学習分野で基本目標に掲げている「人とコミュニティをはぐくむ文化のまち」を基本理念とします。大人から子どもまで誰もが文化・芸術に触れ、交流やにぎわいが創出されるよう、次の4つの基本施策を推進します。

基本理念

人とコミュニティをはぐくむ文化のまち

基本施策

1. 誰もが気軽に身近なところで文化・芸術に触れ、喜びと感動を享受できるまちづくり
2. 文化・芸術の担い手育成とそれを支える環境をはぐくむまちづくり
3. 歴史と伝統により培われた府中固有の文化を大切にし、新たな文化を創造するまちづくり
4. 市内外から人々が集い、文化を通して交流とにぎわいが生まれるまちづくり

※第6次府中市総合計画（平成26年度～平成33年度）より

市民と市がともに目指す都市像

みんなで創る
笑顔あふれる 住みよいまち ……
～みどり・文化・にぎわいのある
洗練された都市を目指して～

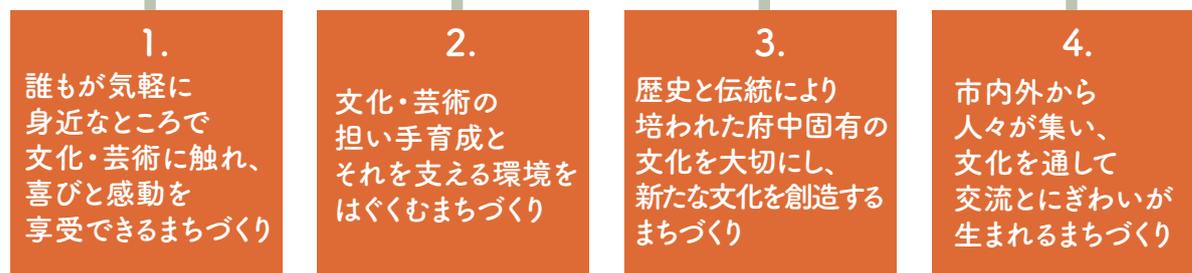
基本目標--文化・学習
人とコミュニティをはぐくむ
文化のまち

3-2 施策体系

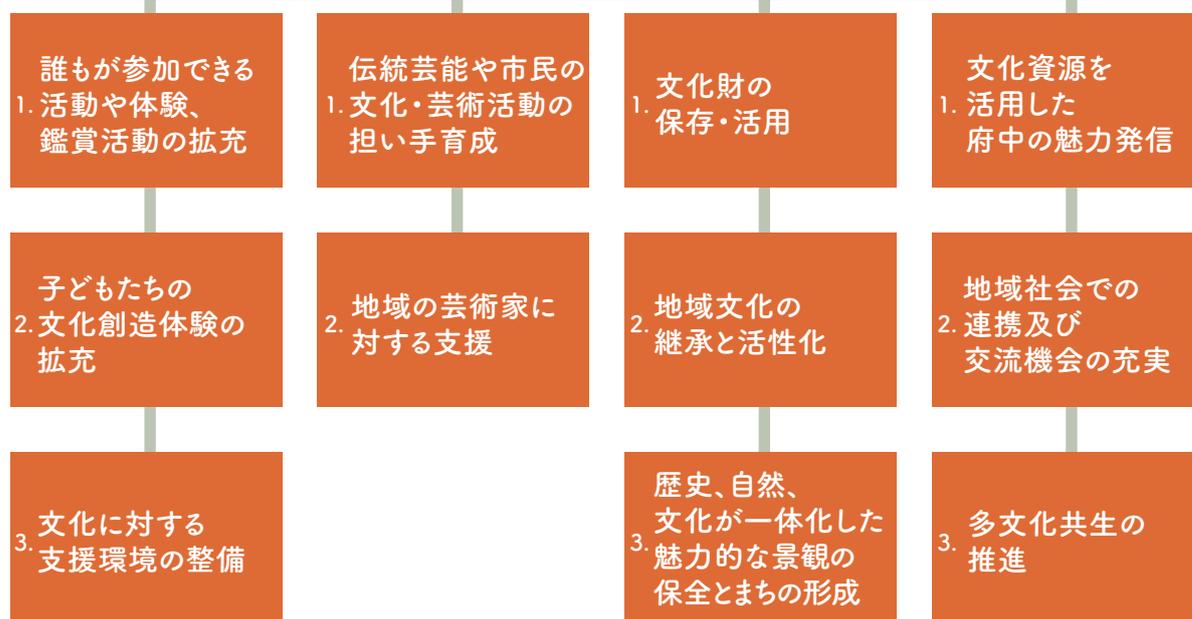
基本理念

人とコミュニティをはぐくむ文化のまち

基本施策



施策



4

Chapter

第4章

具体的な施策の展開

基本施策1

誰もが気軽に身近なところで
文化・芸術に触れ、喜びと感動を
享受できるまちづくり

現状と課題

府中市は、多摩地区の中でも文化施設の整備が特に進んでいる地域のひとつとなっており、多くの市民が、市内で、鑑賞を始めとする文化・芸術活動を行う環境が整っています。平成29年度に実施した「市民の文化・芸術に関するアンケート調査」（以下「アンケート調査」といいます。）の結果からみても、文化的な催し物を鑑賞している人のうち、74.2%が市内で鑑賞しており、身近な場所で文化・芸術を楽しむ生活が定着していることがうかがえます。

今後は、この恵まれた環境を維持することに加え、市民がこれまで以上に、文化・芸術に触れる機会が確保されることを目指します。具体的には、府中市で育つ子どもたちが幼い頃から、より気軽に文化・芸術に親しめるようにするとともに、心身に不安がある方や日本語能力が十分でない方であっても安心して鑑賞を始めとした文化・芸術活動が行えるよう、多様な方々への配慮を一層進めていくこととします。

めざす姿

全ての府中市民が、年齢・性別・国籍の違い、障害の有無などにかかわらず、気軽に文化・芸術に触れ、主体的に活動しています。なかでも、子どもたちが、幼い頃から多様な文化・芸術に親しみ、心豊かな人生の可能性をつかみ取っています。

施策目標

指標名(単位)	指標の説明	基準値	現状値	H37年度目標値
「市民文化の日」の来場者数(人)	10月第2日曜日の「市民文化の日」に、市内文化施設等を訪れ、文化・芸術に触れた人数です。増加を目指します。	来場者 16,551人 (H28年度)	来場者 16,551人 (H28年度)	来場者 19,000人

施策の方向性

①誰もが参加できる活動や体験、鑑賞活動の拡充

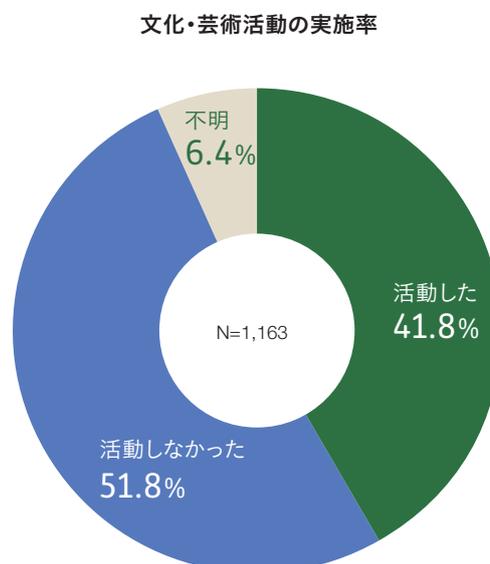
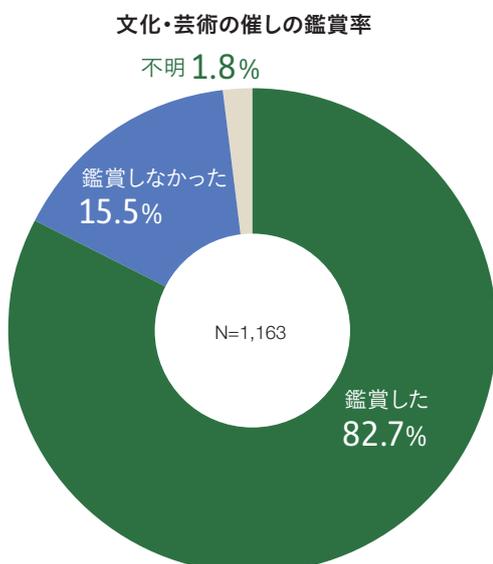
市民の中には、仕事や子育て、年齢による身体的変化などが不安要素となって、文化・芸術鑑賞や文化活動を気軽に行えない人もいます。また、府中市には約4,500人を超える外国人が暮らしていることも考えなければなりません。全ての市民が豊かな文化・芸術体験を享受するためには、市民向けの事業を維持・拡大するとともに、多様な方々が気軽に参加できる条件を整えていくことが重要となります。

こうした機会を確保するため、子どもから大人まで楽しめるイベントとして毎年開催している「市民文化の日」を継続実施するとともに、施設管理者や民間事業者等との連携・協働によるイベントなどを拡充します。また、年齢・性別・国籍・ライフスタイルの違い、障害の有無などにかかわらず、それぞれの興味や関心に応じて、多様な文化・芸術を身近に楽しめるよう、バリアフリーやユニバーサル対応、多言語対応等、様々なニーズへの対応に努めます。

このことを通じて、市民の文化・芸術鑑賞や文化活動への参加機会の拡大や参加意欲の拡充、不安要素の低減を実現し、現状の鑑賞率(82.7%)、活動実施率(41.8%)を更に高めていくよう取り組んでいきます。

この1年間に文化・芸術の催しの鑑賞率、文化・芸術活動の実施率

平成29年度「市民の文化・芸術に関するアンケート調査」より



主要な事業

事業名	事業内容	計画期間中の取組内容
市民文化の日	毎年10月第2日曜日を「市民文化の日」と定め、郷土の森博物館の入場料及び府中市美術館の観覧料を無料とするほか、その他各文化施設において各種イベントを実施します。	事業の拡大方法やPR方法について検討し、来場者の増加を目指します。
府中市民芸術文化祭	府中市芸術文化協会加盟団体を中心として、毎年9月初旬から11月下旬にかけて実施しています。市内で文化活動を行っている個人や団体が参加でき、一般市民が参観できる様々な催しを行います。	府中市芸術文化協会との共催で実施し、市民が中心となって事業を更に発展させていきます。
プロムナードコンサート	府中の森芸術劇場にてパイプオルガンを中心にした器楽等による室内楽の演奏会です。1日2回公演で、午前の部は乳幼児から参加できる公演として、午後の部は大人が気軽に楽しめるコンサートとして実施します。	内容を工夫しながら、引き続き実施します。



市民文化の日



府中市民芸術文化祭



プロムナードコンサート

②子どもたちの文化創造体験の拡充

現在、市内では、子どもの頃から文化・芸術や地域の伝統文化に触れることで、豊かな感性や創造性、地域への愛着をはぐくんでいくことを目指し、「青少年音楽祭」や「美術鑑賞教室」など、様々な子ども向けの文化事業を開催しています。

アンケート調査でも、子どもを対象とした事業の拡大は大きな期待を集めています。今までの実績や、こうした市民の期待を踏まえ、今後も、未来の担い手となる子どもたちが楽しく文化・芸術や地域の伝統文化に参加・学習できる機会を更に増やします。



府中市青少年音楽祭



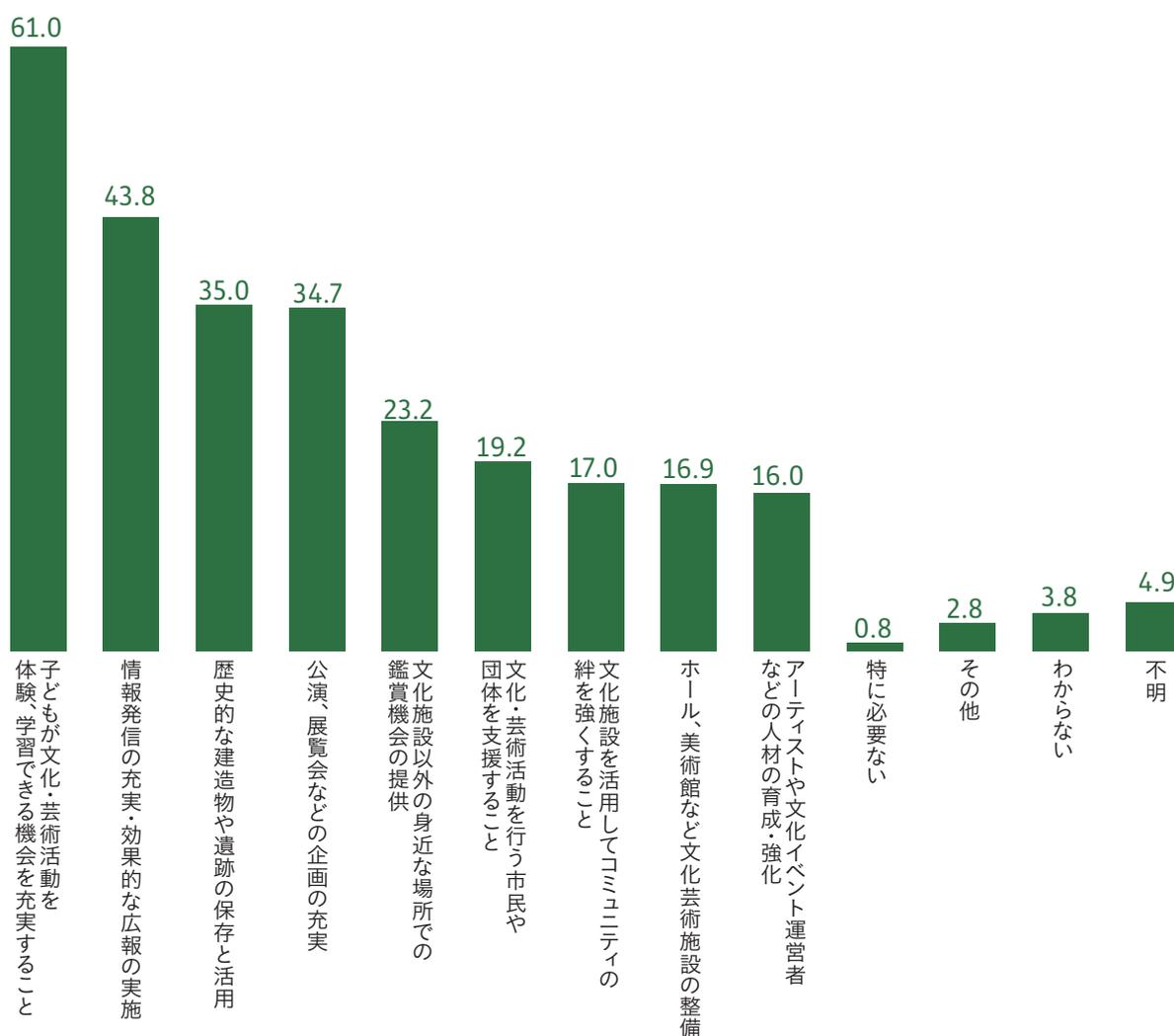
美術鑑賞教室



演奏家による音楽ワークショップ

府中市を文化・芸術の面でよりよいまち、魅力的なまちにするため、
どのような取組があればよいと思いますか。

平成29年度「市民の文化・芸術に関するアンケート調査」より N=1,163 単位(%)



主要な事業

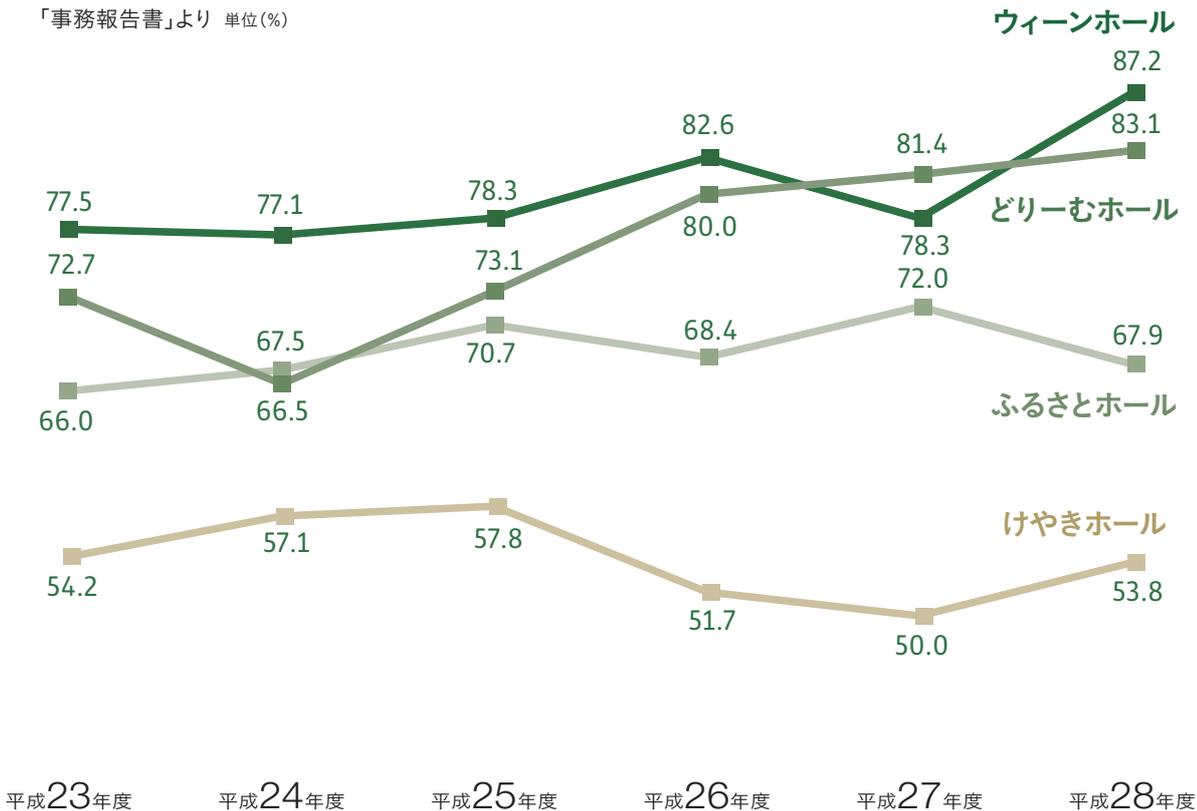
事業名	事業内容	計画期間中の取組内容
青少年音楽祭	市内で活動している青少年音楽団体を対象に参加を募り、2日間にわたり、合奏の部及び合唱の部に分け、日頃の練習の成果を発表します。	参観者の増加を目指します。
美術鑑賞教室	市立小中学校全校に対して、美術作品(絵画、彫刻など)の鑑賞機会を設け、子どもたちの美術に対する関心を高めるとともに、館内観覧時におけるマナーを学習します。	学校と連携し、引き続き実施していきます。
演奏家による音楽ワークショップ	学校の授業の一環として、市内小中学校の体育館や音楽室等でプロのアーティストによるテーマ性のある出張コンサートを行います。	内容について、より音楽に親しめる要素を取り込みながら引き続き実施します。

③文化に対する支援環境の整備

府中市の文化環境を豊かに発展させていくためには、市民や市内の様々な団体等が活発に文化・芸術活動を行うことが重要です。これを実現するため、文化活動を担う様々な主体や、文化を支える人が活動を行いやすい環境の整備を進めます。市民ニーズを的確に把握し、利用しやすい文化施設の運営に努めるとともに、必要な人に必要な情報が届くような情報発信を行います。

ホール稼働率の推移

「事務報告書」より 単位(%)



主要な事業

事業名	事業内容	計画期間中の取組内容
郷土の森博物館 リニューアル事業	本館常設展示室の全面的なリニューアルを終了し、市民の文化創造を育む新しい博物館としての事業展開を図ります。	平成30年5月に予定しているプラネタリウムリニューアルを契機に更なる活用を図ります。
府中の森芸術劇場の 管理運営	施設の使用許可、利用料金の徴収ほか維持管理運営に関する管理業務を、指定管理者に委託し、安全で快適な施設管理を行います。	引き続きおもてなしの心を込めたサービスの向上に努め、利用者本位の柔軟な運営を推進し、施設の利用促進に取り組みます。
各種情報媒体の活用	催し情報が広く市民に伝わるよう、広報紙、ホームページのほか、テレビ広報、メール配信などの各種情報媒体を活用します。	各種情報媒体を有効に活用するとともに、新聞社等のマスメディアへの情報提供を積極的に行います。



府中市郷土の森博物館



府中の森芸術劇場 ウィーンホール



府中市ホームページ
「イベントカレンダー」

協働による取組

豊かな文化・芸術体験を享受するためには、外部から機会を与えられるだけでなく、市民の側も、市の文化・芸術のパートナーとして、積極的に関わっていくことが必要となります。

以上を踏まえ、次の点が期待されます。

- 文化・芸術体験が子どもの成長に重要であることを理解し、子どもに文化施設や文化行事を体験する機会を十分に与えるとともに、文化・芸術を通じた地域活動などに積極的に参画する。
- 地域や市内で文化活動をしている団体等に興味を持ち、イベントや催し物などに積極的に協力する。また、年齢・性別・国籍の違い、障害の有無などにかかわらず、多様な方々の参加を支援する。

文化・芸術の担い手育成と それを支える環境をはぐくむ まちづくり

現状と課題

府中市の文化・芸術活動を継承し、発展させていくためには、それを支える担い手の育成を推進する必要があります。しかしながら、市民団体へのヒアリング結果などからは、次世代の担い手が育っていないという声が多く聞かれました。

担い手育成には、次世代の担い手である子どもたちに対する取組を継続して行っていくことや、府中市ゆかりのアーティストの発掘・育成・支援や連携を図っていくことが大切です。

現在、市内の様々な団体が子ども向けの事業を行っています。また、府中の森芸術劇場では、「府中の森めばえコンサート」など若手アーティストの育成事業を継続して行っています。府中市美術館では、府中市及び多摩地域にゆかりのある作家の作品を収集・保存・展示しています。このような活動を今後も継続して行うとともに、更に拡充していくことが求められます。

めざす姿

府中市で、今までにはぐくまれてきた伝統芸能や文化・芸術が子どもたちに受け継がれるとともに、府中市ゆかりのアーティストが市内の様々な場で活躍し、市民とともに府中市の文化・芸術を創造・継承しています。

施策目標

指標名(単位)	指標の説明	基準値	現状値	H37年度目標値
1年間のうちに、文化・芸術活動を行った人の割合(%)	市民への意識調査により把握します。増加を指します。	41.8% (H29年度)	41.8% (H29年度)	50.0%

施策の方向性

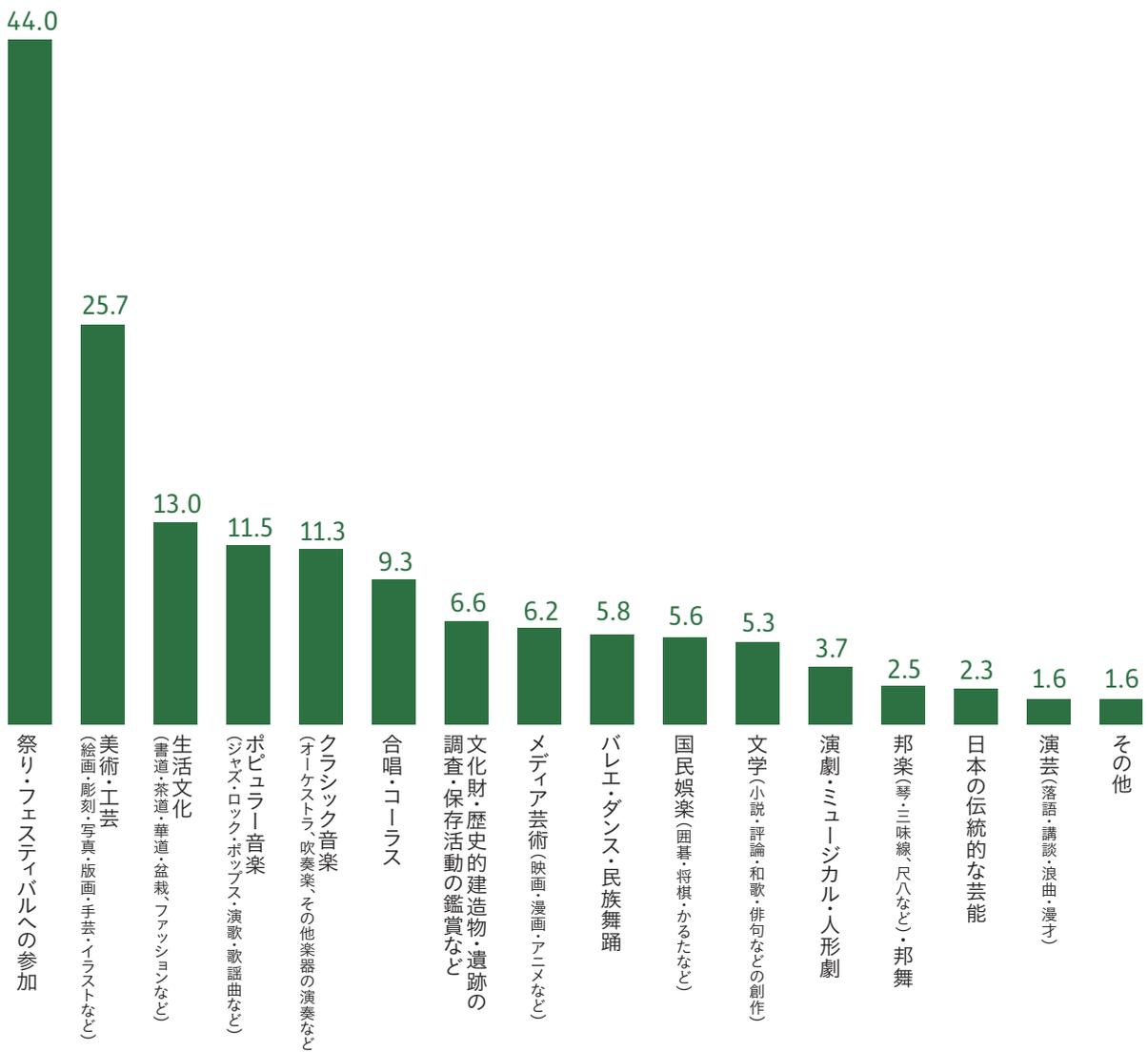
① 伝統芸能や市民の文化・芸術活動の担い手育成

市内の文化団体等のヒアリング結果では、メンバーの高齢化や後継者不足が大きな課題として挙げられました。また、アンケート調査結果では、半数以上の市民がこの1年間に文化・芸術活動を行っていないと回答しています。次世代の担い手が育っていくためには、様々な世代の市民が積極的に文化・芸術活動に参画していくことが必要です。また、自分自身の参加だけでなく、親の立場として子どもに体験機会を与えていくことも重要になります。

このため、伝統芸能や文化・芸術活動を行う人はもちろんのこと、活動の指導者となる人、文化事業の企画・制作・運営を担う人、専門知識や技術を持つ人など、文化・芸術を担う様々な人材の掘り起こしと育成に取り組みます。

この1年間に文化・芸術活動を行った人の活動ジャンル

平成29年度「市民の文化・芸術に関するアンケート調査」より N=486 (単位:%)



主要な事業

事業名	事業内容	計画期間中の取組内容
府中囃子伝承普及事業	演奏技術の伝承普及及び後継者の育成を図るため、府中囃子保存会に府中囃子の演奏技術伝承事業を委託して実施します。	引き続き実施します。
武蔵国府太鼓伝承普及事業	演奏技術の伝承普及及び後継者の育成を図るため、武蔵国府太鼓連盟に武蔵国府太鼓の講習会事業を委託して実施します。	引き続き実施します。
博物館ボランティア活動	博物館活動に関心のある市民にボランティアとして登録してもらい、様々な分野での活動を通して学習意欲やコミュニティ力を高めるとともに、能力をいかした博物館活動を推進します。	「市民参加」から「市民協働」へ、30年の実績を踏まえ、博物館活動に欠かせないものとして促進させていきます。



府中囃子



武蔵国府太鼓



博物館ボランティア

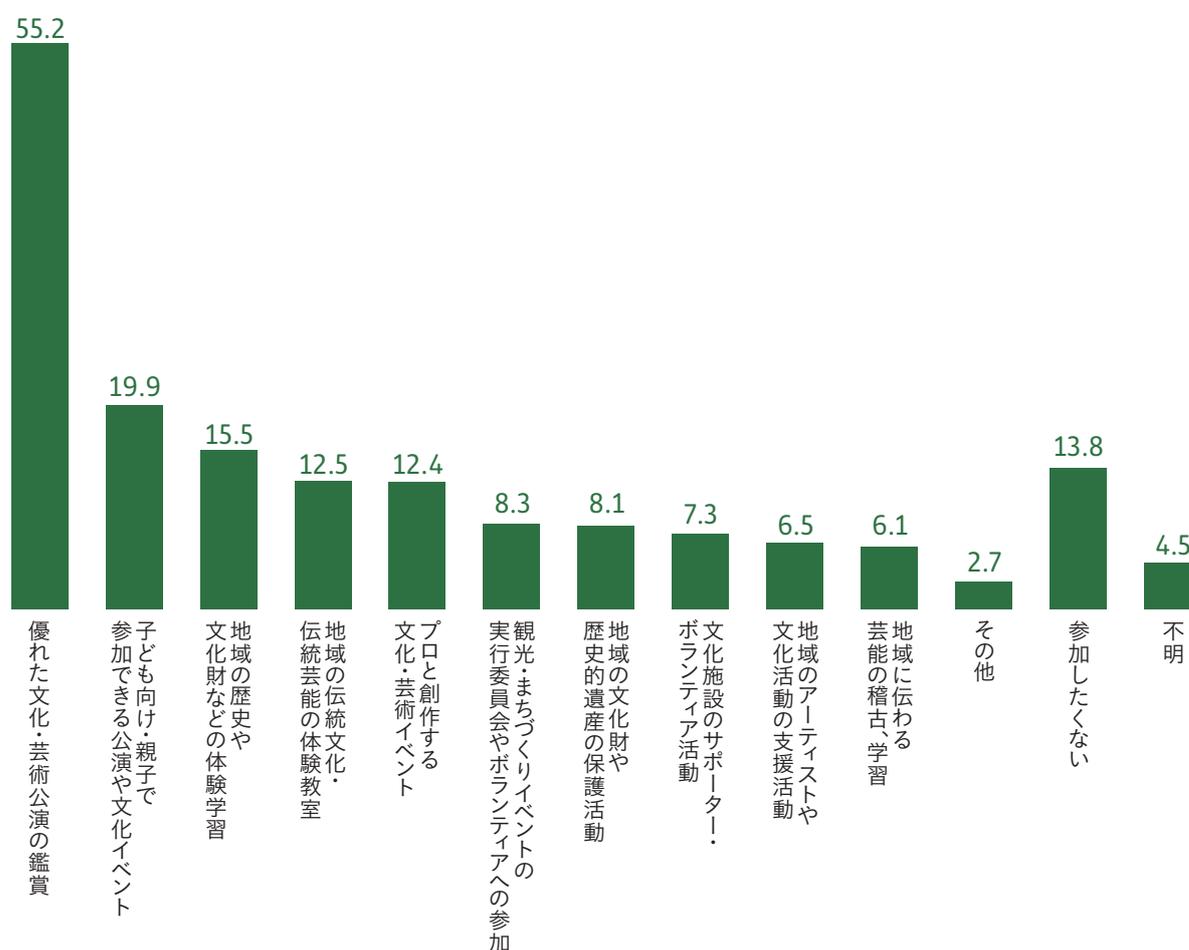
②地域の芸術家に対する支援

府中市には、優れた劇場・ホールや美術館があり、芸術家の支援の場となっています。また、アマチュアからプロまで、府中市にゆかりのある芸術家が多数存在します。こうした地域の芸術家の活動が活発に行われるように環境を整備し、芸術家の育成支援と活躍の場を創出していくことも、地域の文化・芸術の振興を図っていく上で重要な活動となります。

市内外の府中市ゆかりの芸術家を発掘し、育成や連携を図ることで、市民への鑑賞機会の提供、文化・芸術活動の参加に向け、事業企画力の強化に努めます。

今後参加したい文化・芸術活動

平成29年度「市民の文化・芸術に関するアンケート調査」より N=1,163 (単位:%)



主要な事業

事業名	事業内容	計画期間中の取組内容
公開制作	公開制作室で作家が作品を制作します。具体的な制作過程を市民に公開し、作品の理解を深めます。	公開制作の在り方を点検しながら実施していきます。
市民美術展	市に社会教育団体登録した市民グループから作品1点を推薦し展示します。	出品する市民の意見を反映しつつ、実施していきます。
府中の森めばえコンサート	将来有望な若手アーティストに演奏の機会を提供し、市民や地域の方々とともに才能あるアーティストを支援します。	当公演の応援者となるサポーターの増加を目指します。



公開制作（府中美術館）



市民美術展



府中の森めばえコンサート
（府中の森芸術劇場）

協働による取組

府中市の伝統文化、市民文化の育成の主体は市民です。地域の芸術家の育成に当たっても、地元の住民が温かい目で見守り、後押ししていくことが重要です。

以上を踏まえ、次の点が期待されます。

- 府中の伝統文化に興味を持ち、伝統文化の継承に関わる活動や子どもの継承活動に積極的に参加・協力する。
- 地域の文化・芸術活動や地域の芸術家の活動に関心を持ち、支援を行う。

基本施策3

歴史と伝統により培われた 府中固有の文化を大切にし、 新たな文化を創造するまちづくり

現状と課題

府中市は、かつて武蔵国の国府が置かれたまちであり、長い歴史とその中で培われた文化財、伝統が保存・継承されてきました。また、府中市の歴史は、馬場大門のケヤキ並木に代表される歴史的景観としても息づいています。こうした歴史を背景とし、多摩の豊かな自然に恵まれ、更には文化施設や文化イベントを始めとする文化的な雰囲気は、市民が誇りとする府中市ならではの街並み、景観を生み出しています。

一方で、生活様式が多様化し、特に在住年数の短い住民や若い世代の中には伝統文化に関心の薄い人もいます。そういった市民に対して、地域固有の文化を知ってもらい、大切にすることを醸成していくことが求められます。

めざす姿

長い歴史の中で培われた歴史的文化遺産について市民が学び、理解を深め、郷土を愛する心、誇りに思う心が育っています。歴史や文化に改めて目を向けることで、保存・継承と同時に、歴史的文化遺産を活用した新たな試みが市民の中から創造されています。

施策目標

指標名(単位)	指標の説明	基準値	現状値	H37年度目標値
府中市史編さん事業による刊行物の発行点数(種類)	市史編さん事業による刊行物(通史編、資料編、報告書、別編、付属刊行物)を発行し、府中市の歴史について広く周知し、教育分野での活用ができるようにします。	-	-	22種類

施策の方向性

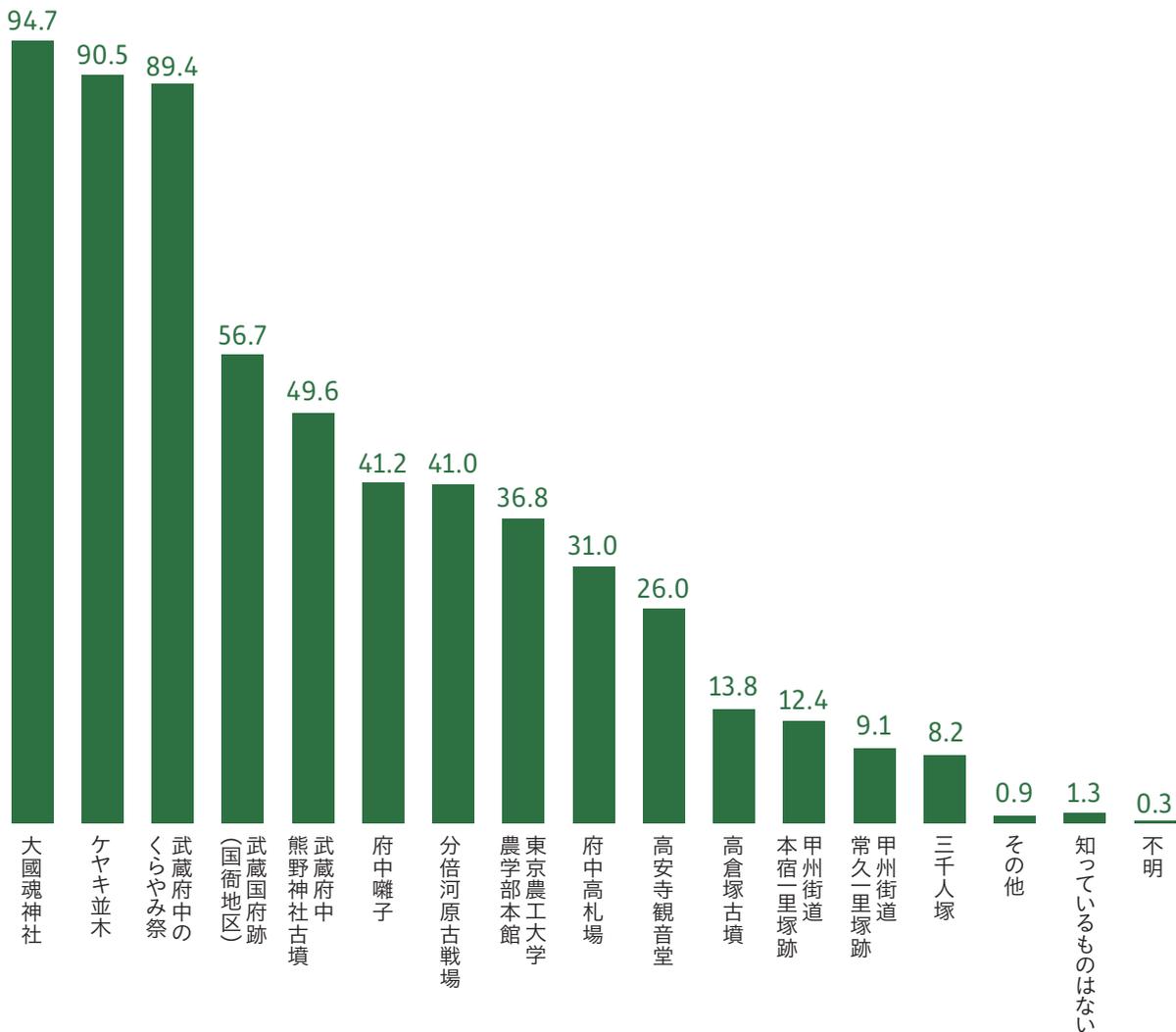
①文化財の保存・活用

府中市は、市街地化が進みながらも、数多くの文化財が残っています。アンケート調査結果からも、大國魂神社、馬場大門のケヤキ並木、くらやみ祭を始め、文化財の認知度は高く、市民の誇りとなっていることが分かります。文化財を適切に整備・保存するとともに、積極的に活用することによって、理解と認知を広め、次世代に継承します。

学校と連携した子どもたちへの教育普及に加え、新たに府中市に転入した市民への対応も重要です。また、市内の指定文化財の認知度については、在住年数によって大きな差があります。こうした差をなくし、市民全体で文化財への意識を高めていくことが望まれます。

市内の指定文化財の認知度

平成29年度「市民の文化・芸術に関するアンケート調査」より N=1,163(単位:%)



主要な事業

事業名	事業内容	計画期間中の取組内容
文化財保存活用事業	市内文化財の維持管理及び普及事業を実施するとともに、文化財の保護・活用を行います。また、国史跡武蔵府中熊野神社古墳展示館の運営を行います。	引き続き、市内文化財の維持管理や普及事業を実施し、文化財の保護活用を進めていきます。
埋蔵文化財保存活用事業	発掘調査や出土遺物等発掘調査結果の再整理、展示資料の作成等を実施し、埋蔵文化財(遺跡)の記録・保存・活用及び国府・国庁の解明を行います。また、市内遺跡出土遺物整理・公開事業を実施し、出土遺物・調査結果の整理・保存・活用・情報提供等を行います。	引き続き、発掘調査で見つかった遺構や土器などの遺物を整理し、保存活用を進めていきます。
武蔵国府跡保存活用事業	JR府中本町駅前ににぎわいと魅力ある空間の両立をめざして、国史跡武蔵国府跡(国衙地区・国司館地区)の保存・整備・活用を図ります。	史跡の歴史的価値を広く市内外に発信し、年間を通じてより多くの人々が集う場所としていきます。



くらやみ祭 万燈大会



大國魂神社



国史跡武蔵府中熊野神社古墳

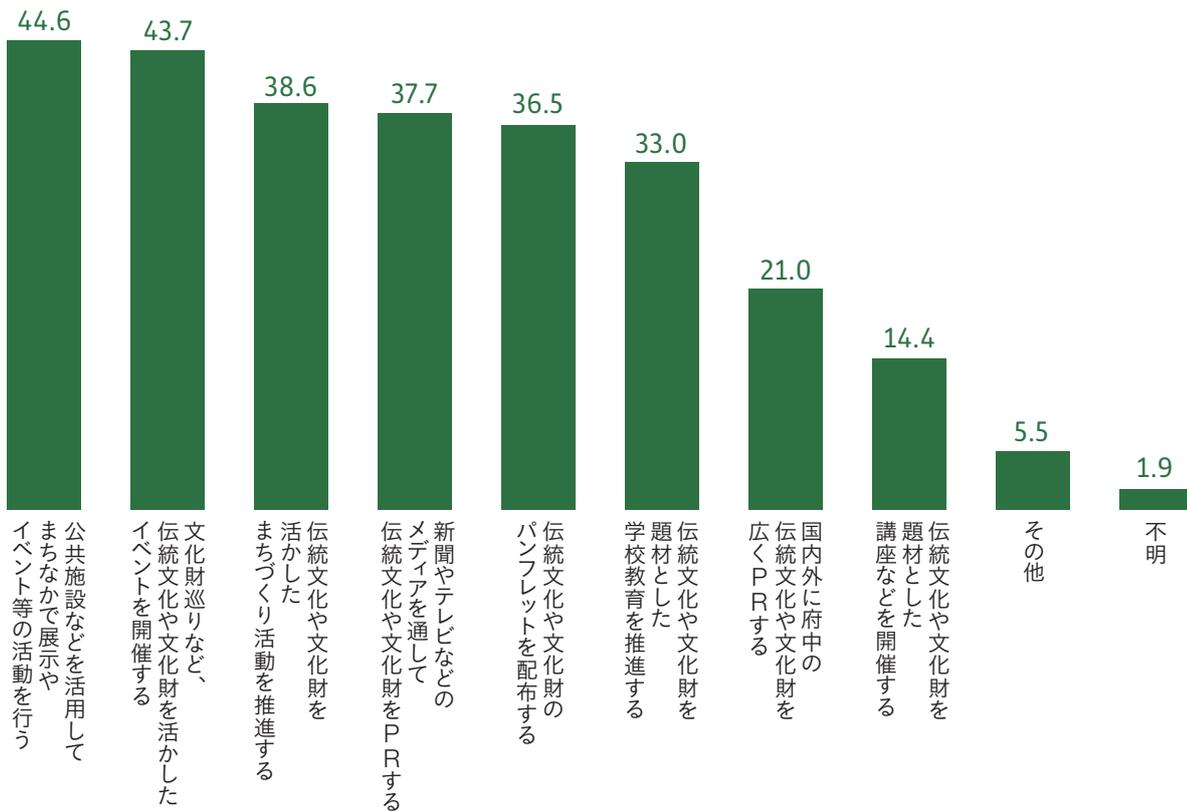
②地域文化の継承と活性化

府中市には、文化財や歴史的文化遺産だけでなく、各地域で行われている祭や行事も数多く残っています。それら地域文化の継承と活性化に努め、地域に愛着を持ち、府中らしさを大切にする風土を醸成します。

このことを実現するため、伝統文化の担い手育成事業に加え、新たに転入した市民や外国人住民への普及事業や体験事業を推進するとともに、市民自らの手で地域の文化を発掘し、維持・拡充していく活動を支援します。

地域の伝統文化や文化財へ関心を持ってもらうための取組

平成29年度「市民の文化・芸術に関するアンケート調査」より N=1,163 (単位:%)



主要な事業

事業名	事業内容	計画期間中の取組内容
府中市史編さん事業	市制70周年を迎える平成36(2024)年の完成を目標として、約半世紀ぶりに新たな府中市史を編さんし、府中市の歴史文化の情報や魅力について市内外に幅広く発信します。	新たな「府中市史」の通史編・資料編などの刊行物を順次、編集発行します。
由来碑管理	市民がふるさとの歴史や風土を理解する道しるべの一助となることを目的として設置した由来碑の管理を行います。	老朽化が進んでいるものの修繕や、土地の変化等にも合わせながら適切に維持管理をしていきます。
各文化センター コミュニティ圏域交流事業	七夕の集いなど、地域で行われている催しについて、各文化センター圏域コミュニティ協議会に事業を委託します。子どもから高齢者まで様々な世代の地域住民が交流を深め、伝統文化や行事を体験的に楽しみ、学べるよう協働で実施します。	引き続き支援します。

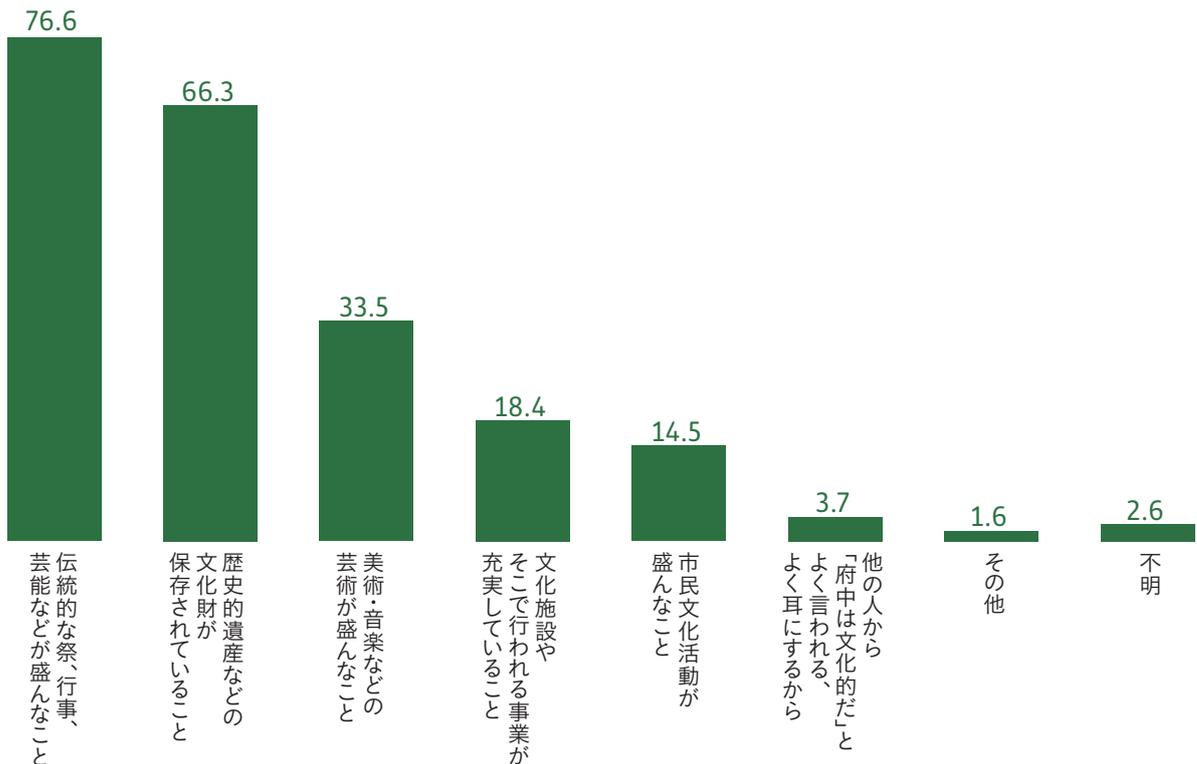
③歴史、自然、文化が一体化した魅力的な景観の保全とまちの形成

府中市には、文化財や歴史的建造物とともに、浅間山や多摩川を始めとする豊かな自然も多く存在します。また、文化施設も、景観の重要な要素となっており、こうした歴史、自然、文化の三つの要素が調和した環境は、市民の誇りです。

美しい自然、歴史的景観を保全・整備し、文化的な景観を整え、文化・芸術によるにぎわいを拡充していくことで、安らぎとうるおいあるまちを形成し、豊かな心をはぐくみます。

府中市が文化的なまちだと思う理由

平成29年度「市民の文化・芸術に関するアンケート調査」より N=965 (単位:%)



主要な事業

事業名	事業内容	計画期間中の取組内容
府中水辺の楽校	小学生を対象に、身近な自然を学ぶ機会として、多摩川の自然を遊びながら学習するイベント(魚とり、昆虫採集、植物観察等)を開催しています。	引き続き、身近な自然の大切さを学ぶ機会を提供していきます。
市民花壇	公園などの公共用地に、市民参加による花壇づくりを進めます。登録した市民団体へ春と秋に花苗と球根(秋のみ)を配付し、花壇の維持管理を行います。	引き続き、登録した市民団体に草花の苗の提供を行っていきます。
馬場大門のケヤキ並木保護対策事業	府中市のシンボルであるケヤキ並木を、将来にわたって健全な状態で保護するため、保護管理計画に基づき巡回調査と対策の実施を行います。	引き続き実施していきます。

協働による取組

府中市の文化財、伝統文化や地域文化、文化的景観を保全し、向上させるためには、市民自らが主体的に地域の文化、景観に誇りを持ち、それを次世代や新たに転入した市民に伝え、継承していく活動が重要です。

以上を踏まえ、次の点が期待されます。

- 府中の文化財、文化資源、文化的景観に誇りを持ち、地域の歴史や文化の学習活動、保全活動などに積極的に取り組む。
- 在住年数の短い住民や若い世代の方々が、伝統文化や地域文化に親しめるよう、参加しやすい雰囲気づくりを行う。

市内外から人々が集い、 文化を通して 交流とにぎわいが生まれるまちづくり

現状と課題

平成28年3月、文化庁とスポーツ庁及び観光庁が、包括的連携協定を結ぶなど、文化・芸術の振興と観光振興は結び付きを更に強めています。また、同年4月、文化庁は文化財を貴重な地域・観光資源として活用するための取組を定めました。

以上の動向に加え、平成31(2019)年にはラグビーワールドカップ2019が、翌32(2020)年には東京2020大会が開催されます。両大会の開催を契機に、文化・芸術や文化財を、市内外への府中市の魅力発信、観光振興へと結びつけていく施策を積極的に進める必要があります。

具体的には、市内の文化財などについて、分かりやすい解説の充実や多言語化を進めるとともに、美術館や博物館における参加・体験型教育プログラム等の実施、文化・芸術活動と連携した文化プログラムの実施などを推進します。

めざす姿

府中市の文化財、文化施設及び文化イベントに、市内外から多くの人々が訪れ、府中の魅力が伝わっています。様々な人との交流により、多様な文化や価値観を尊重しあい、にぎわいのあるまちになっています。

施策目標

指標名(単位)	指標の説明	基準値	現状値	H37年度目標値
府中市が文化的であると 感じている市民の割合(%)	市民への意識調査により把握します。増加を目指します。	82.9% (H29年度)	82.9% (H29年度)	88.0%

施策の方向性

①文化資源を活用した府中の魅力発信

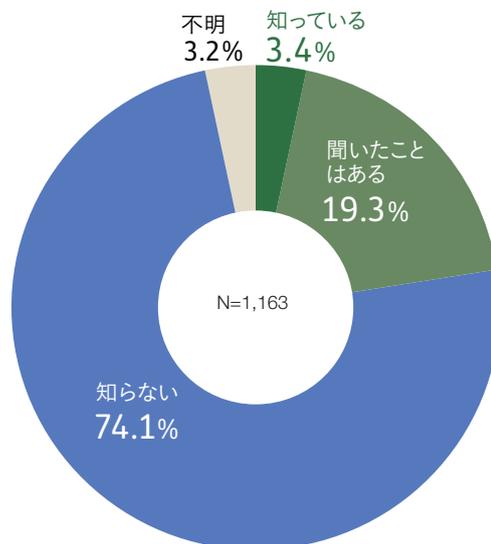
府中市にある文化財や自然を始めとする多様な文化資源を磨き上げ、活用することにより市内外での認知を広めます。また、ラグビーワールドカップ2019及び東京2020大会の開催を契機に、府中市の文化的魅力を市内外に発信し、多くの人を訪れるにぎわいのあるまちづくりを目指します。



観光ボランティア

文化プログラムの認知度

平成29年度「市民の文化・芸術に関するアンケート調査」より



※オリンピックは、スポーツの祭典であると同時に、文化・芸術の祭典でもあります。東京2020大会では、オリンピック憲章に基づき、開催までの3年間にわたり、全国で「文化プログラム」(文化・芸術イベント)が行われます。

主要な事業

事業名	事業内容	計画期間中の取組内容
東京2020 参画プログラムの推進 [新規事業]	文化・芸術分野における東京2020参画プログラムの認証イベント※を拡大することによって、文化プログラムの認知度を上げ、東京2020大会の気運醸成を図ります。	2020年に向けて大会気運を醸成するため、プログラムの周知拡大と、認証イベントへの市民の積極的参加を推進します。
観光ガイドツアー	観光ボランティアの会が主体となって、市内の観光資源を案内するツアーを開催します。	引き続き、市内外の観光客に、観光ボランティアにより、市内の観光スポットや歴史文化などを紹介します。
市民文化の日(再掲)	毎年10月第2日曜日を「市民文化の日」と定め、郷土の森博物館の入場料及び府中市美術館の観覧料を無料とするほか、その他各文化施設において各種イベントを実施します。	事業の拡大方法やPR方法について検討し、来場者の増加を目指します。

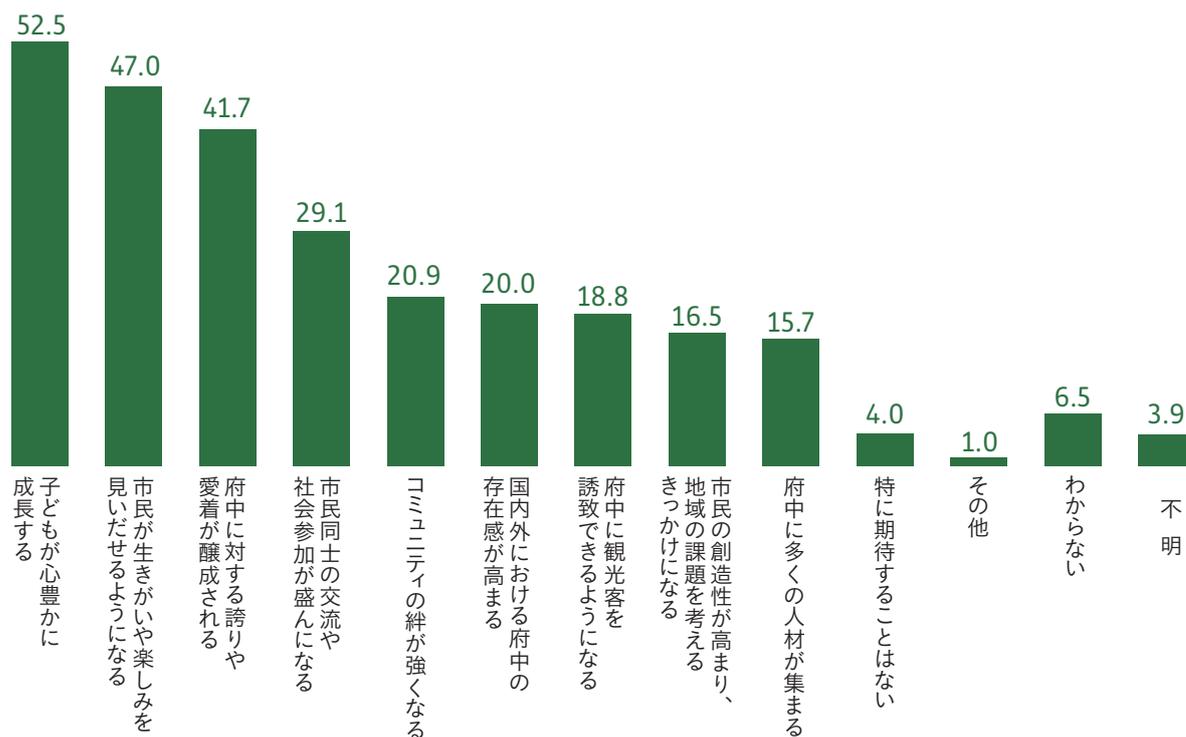
※東京2020参画プログラムに認証されたイベントでは、東京2020大会に関連する文言やマークを使用することができます。

②地域社会での連携及び交流機会の充実

人と人とのふれあいや地域社会への愛着・関心を深めることを目的に、企業や学校、近隣自治体などとの連携を促進します。それぞれの持つ資源や知識を文化・芸術の推進にいかし、人々の交流活動を盛んにすることで行政だけでは達成できない大きな成果を目指します。

文化イベントが活発に行われることにより、期待すること

平成29年度「市民の文化・芸術に関するアンケート調査」より N=1,163 (単位:%)



主要な事業

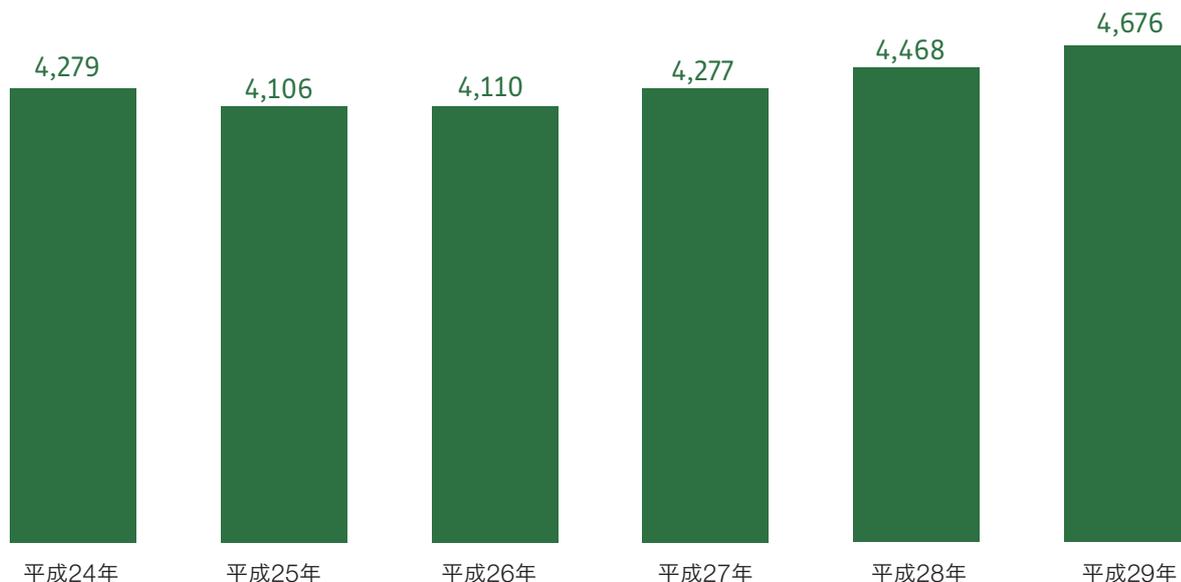
事業名	事業内容	計画期間中の取組内容
学校協力事業	郷土の森博物館と学校とが協力し、児童・生徒の総合学習、郷土学習、体験学習等を支援するとともに、教員研修を行うほか、出前講座や資料貸出しなど博物館外での活動を行います。	リニューアルした常設展示室・プラネタリウム等を活用した団体利用と教員研修やアウトリーチを促進させます。
青少年対策地区委員会育成事業活動	中学校単位で11地区ある青少年対策地区委員会が、ふれあいイベントとして、音楽会や作文発表会などを実施し、学校・地域・家庭との連携を図りながら、文化に親しむことのできるよう環境づくりを行います。	各青少年対策地区委員会に対し補助を行うなど、活動の推進を引き続き支援していきます。
各文化センターコミュニティ圏域交流事業(再掲)	七夕の集いなど、地域で行われている催しについて、各文化センター圏域コミュニティ協議会に事業を委託します。子どもから高齢者まで様々な世代の地域住民が交流を深め、伝統文化や行事を体験的に楽しみ、学べるよう協働で実施します。	引き続き支援します。

③多文化共生の推進

府中市には、約4,500人を超える外国人が住んでいます。また、ラグビーワールドカップ2019及び東京2020大会に向けて、府中市に来訪する外国人が増えることが予想されます。外国人住民・訪日外国人客との文化交流などを通じて、多様性を尊重する意識を高め、国際理解を推進する取組を行います。

府中市の外国人住民数の推移

市民部総合窓口課資料より(各年1月1日現在)(単位:人)



主要な事業

事業名	事業内容	計画期間中の取組内容
多言語生活情報誌 インフォラインの発行	市からの生活情報や市内の催し物情報などを、日本語、英語、中国語、ハングルで併記した情報誌を年4回発行しています。	引き続き定期的な発行を行っていきます。
友好都市との交流促進	市内在住の青少年を対象に、ウィーン市ヘルナルス区へのホームステイ派遣及びヘルナルス区からの訪問団やホームステイ派遣生の受け入れを行います。	青少年のホームステイ相互派遣を継続するとともに、より多くの市民が参加できる交流事業を検討していきます。
東京2020大会に向けた 文化事業 [新規事業]	東京2020大会の開催に伴い、日本や東京又は府中をテーマにした事業を実施します。	実施に当たっては、外国人が参加しやすい環境づくりに努めます。



友好都市ウィーン市ヘルナルス区との交流
(大國魂神社)



友好都市ウィーン市ヘルナルス区との交流
(市長表敬訪問)

協働による取組

ラグビーワールドカップ2019や東京2020大会は、府中市の魅力を市内外に発信する大きな機会であるとともに、府中市の文化・芸術に関する施策の推進について、次世代に遺すべき有形・無形の文化的遺産(レガシー)を構築していく契機でもあります。

以上を踏まえ、次の点が期待されます。

- ラグビーワールドカップ2019や東京2020大会に関連する事業に主体的に参画し、地域内や地域間での交流を積極的に行う。また、ボランティア活動や地域活動を通じて事業の企画や運営に参加する。
- 日本人と外国人住民の相互が言語・文化の違いを理解し、衣食住などの生活習慣を含めた多様な価値観を認め合えるよう、外国人との交流の機会を積極的につくる。

5-1 計画の推進体制

市民協働による文化施策の推進

府中市は平成26年10月に、市民と市が一体となった市民協働を推進していくことを広く表明するため、「市民協働都市」とすることを宣言しました。

文化・芸術の分野においても、府中市ならではの文化を保存・継続・創造していくためには、市民の力はなくてはならないものです。

市民協働による文化政策の推進には、市民、団体、企業、学校、地域など、文化・芸術に関わる全ての人々と市が連携を深めながら、積極的に取り組んでいくことが非常に重要です。

各主体が互いの立場を尊重しあいながら、それぞれの役割と責任において文化・芸術の推進に取り組めるような体制の構築に努めていきます。

行政の役割

文化・芸術活動の主役は市民であり、行政の役割は、市民のニーズを把握し、市民の自主的活動や文化的暮らしの実現に向けた様々な取組を支援していくことにあります。

本計画には、文化・学習の分野のみならず、地域振興、都市間交流、産業振興、教育、子育て、福祉、環境、都市整備など様々な関係部門が担当する施策も含まれており、計画を確実に推進していくためには、庁内の枠組みを超えた相互連携を図りながら取り組んでいくことが重要になります。

さらに、国、東京都、近隣市など他の行政機関とも連携することで、より広域的な文化・芸術に関する施策の推進を図るべく取り組みます。

5-2 計画の進行管理

府中市では、今まで市民とともに様々な文化・芸術関連の事業を継続して行ってきました。今後、更に府中市の文化・芸術に磨きをかけていくために、本計画を効果的に推進していく必要があります。施策・事業の進捗状況や成果を把握するため、施策・事業の内容について定期的に確認・点検を行い、必要に応じて改善をしていくことが重要です。

本計画を具体的な事業計画に反映させるPlan(計画)、それを専門的な知見をもって実施していくDo(業務遂行)、遂行結果を確認するCheck(評価)、そして評価を基に計画を練り直すAction(改善)のサイクルを確実に回していくことが必要となります。

また、隔年で、各基本施策における事業の実施状況を調査し、進捗管理を行っていきます。

本計画のPDCAサイクル



Fuchu City
Culture and the Arts
Initiative

府中市
文化芸術
推進計画
2018-2025

資料編

Data 1 府中市文化振興計画検討協議会 委員名簿

(敬称略)

選出区分	氏名	所属	備考
学識経験者	うしやま たけし 牛山 剛	公益財団法人府中文化振興財団 理事	会長
学識経験者	かじ よしあき 楯 義明	武蔵野美術大学教授	
学識経験者	たむら たかこ 田村 孝子	公益社団法人全国公立文化施設 協会副会長	
学識経験者	ばば はるこ 馬場 治子	府中市文化財保護審議会委員	
芸術文化関係団体	さとう ゆうぞう 佐藤 祐三	府中市芸術文化協会副会長	
芸術文化関係団体	すがの よしお 菅野 義雄	府中市史談会幹事	
芸術文化関係団体	なかむら ようこ 中村 洋子	府中市芸術文化協会副会長	副会長
芸術文化関係団体	よしだ ひろこ 吉田 裕子	府中市美術館運営協議会委員	
公募市民	かわぐち かつみ 川口 克巳		
公募市民	さいとう けいこ 齋藤 慶子		

府中市文化振興計画検討協議会における審議では、次期計画の名称を第2次府中市文化振興計画として検討を進めておりましたが、「府中市文化芸術推進計画」と改め策定しました。

Data 2 府中市文化振興計画検討協議会 規則

(趣旨)

第1条 この規則は、府中市附属機関の設置等に関する条例(平成27年3月府中市条例第1号)第9条の規定に基づき、府中市文化振興計画検討協議会(以下「協議会」という。)の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(協議会の委員)

第2条 協議会の委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) 学識経験を有する者 4人以内
- (2) 芸術文化関係団体の構成員 4人
- (3) 公募による市民 2人以内

(会長及び副会長)

第3条 協議会に会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれらを定める。

2 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(協議会の会議)

第4条 協議会の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 協議会は、過半数の委員の出席がなければ会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

4 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を協議会の会議に出席させて意見を聴き、又は説明を求めることができる。

(雑則)

第5条 この規則に定めるもののほか協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

付 則

この規則は、公布の日から施行する。

Data 3 府中市文化振興計画検討協議会 開催経過

回	開催日	審議内容
第1回	平成28年11月8日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・委員委嘱、委員紹介 ・会長副会長選出 ・第2次府中市文化振興計画の策定について
第2回	平成29年1月31日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・府中市における文化施設の現況について ・府中市における文化施策について
第3回	平成29年3月21日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民意識調査について
第4回	平成29年5月26日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民意識調査結果報告について ・第2次府中市文化振興計画の方向性について
第5回	平成29年6月28日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・府中市の文化的特徴について ・第2次府中市文化振興計画施策の体系について
第6回	平成29年7月26日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次府中市文化振興計画施策の体系について ・第2次府中市文化振興計画素案について
第7回	平成29年8月30日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次府中市文化振興計画素案について
第8回	平成29年10月10日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次府中市文化振興計画素案について ・答申について

Data 4 文化・芸術に関する アンケート調査結果（一部抜粋）

1. 調査概要

調査の目的

平成20年度に策定した「府中市文化振興計画」が平成29年度で10年間の計画期間を終えるに当たり、新たな計画の策定に向け、今後の施策を進めるうえでの基礎資料として、市民の皆さまの文化・芸術活動の状況を把握し、市の施策に対するご意見を伺うため、アンケート調査を実施した。

調査の対象

府中市に在住の満18歳以上の方の中から、3,000人を無作為に抽出した。

調査の期間

平成29年4月18日(火)～平成29年5月2日(火)

調査の手法

郵送により配布し、郵送により回収。

回収数・回収率

配布数 3,000票
回収数 1,163票
回収率 38.8%

設問

- ①回答者の属性について
- ②文化財や伝統文化について
- ③文化・芸術に関する活動について
- ④文化施設の利用について
- ⑤文化・芸術に関する情報について
- ⑥文化・芸術に対する考えについて
- ⑦文化プログラムについて
- ⑧自由回答

調査結果の見方

- ・集計は、小数点2位以下を四捨五入してあるため、数値の合計が100%にならない場合がある。
- ・回答の比率(%)は、その質問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問は比率の合計が100%を超える場合がある。
- ・基数となるべき実数は、全体の回答者を基数とする場合はN(件数)、ある回答を選択した回答者のみを基数とする場合はn(件数)として表示した。

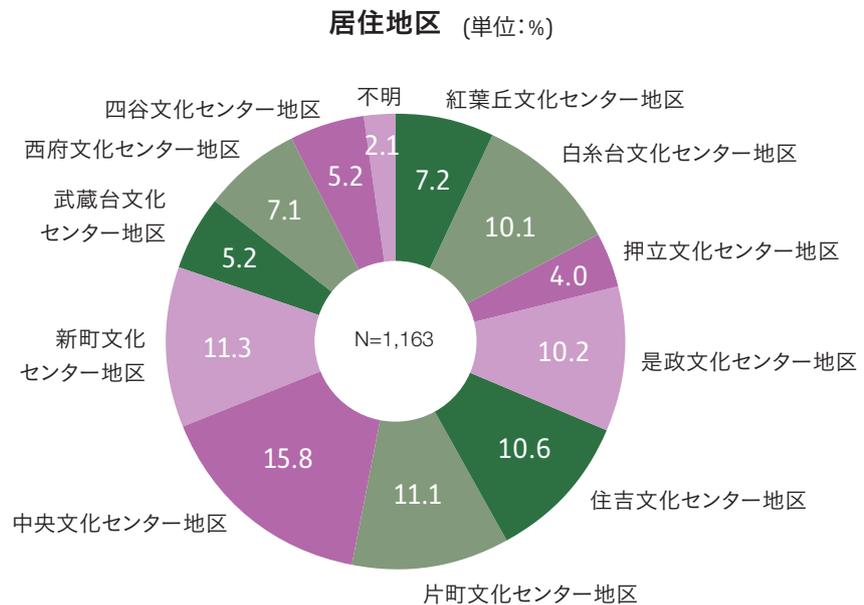
2. 調査結果

回答者の属性について

1) 居住地区

問1(1) 居住地区

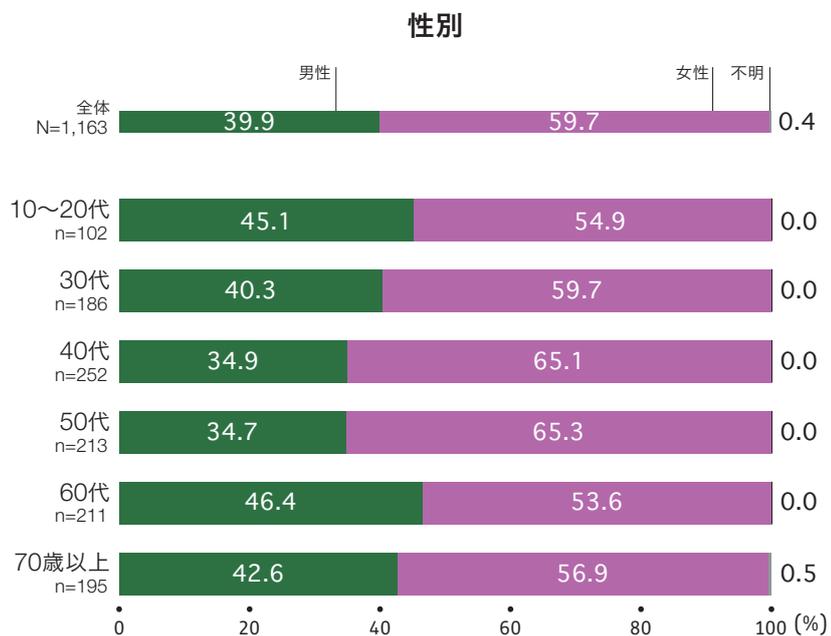
「中央文化センター地区」が15.8%、「新町文化センター地区」が11.3%、「片町文化センター地区」が11.1%、「住吉文化センター地区」が10.6%、「是政文化センター地区」が10.2%となっており、住民基本台帳の人口構成と大きくは変わらない。



2) 性別

問1(2) 性別

全体では、「男性」が39.9%、「女性」が59.7%と女性が多い。特に、40代と50代で「女性」の割合が多くなっている。



3) 年代

問1(3) 年代

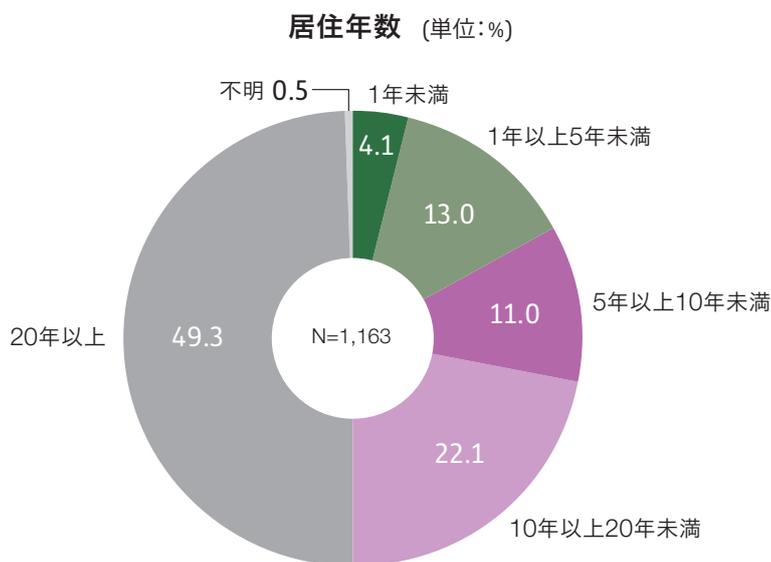
全体では、「40代」が21.7%、「50代」が18.3%、「60代」が18.1%、「70歳以上」が16.8%、「30代」が16.0%、「10～20代」が8.8%の順である。
性別で見ると、男性では「60代」が最も多く21.1%、女性では「40代」が最も多く23.6%である。



4) 居住年数

問1(4) 居住年数

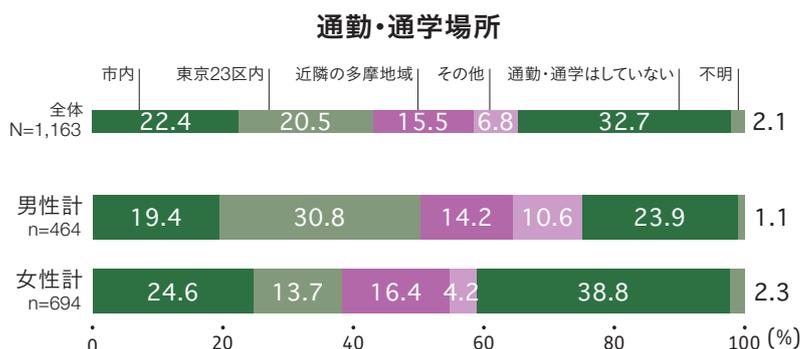
「20年以上」が49.3%と約半数を占め、以下、「10年以上20年未満」が22.1%、「1年以上5年未満」が13.0%、「5年以上10年未満」が11.0%、「1年未満」が4.1%の順になっている。



5) 通勤・通学場所

問1(5) 通勤・通学場所

全体では、「通勤・通学はしていない」が32.7%と最も多く、以下「市内」が22.4%、「東京23区内」が20.5%と続く。性別で見ると、男性と比べて女性の方が近場に通勤・通学している割合が多くなっている。



文化財や伝統文化について

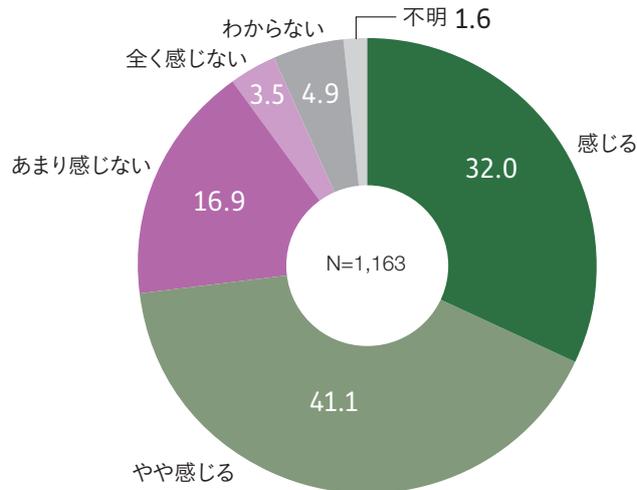
1) 市の文化財や伝統文化への親しみ

市の文化財や伝統文化への親しみ (単位:%)

問2

あなたは、市の文化財や伝統文化に親しみを感じますか。(1つに○)

全体では、「感じる」が32.0%、「やや感じる」が41.1%で、合わせて73.1%の人が市の文化財や伝統文化に親しみを感じている。

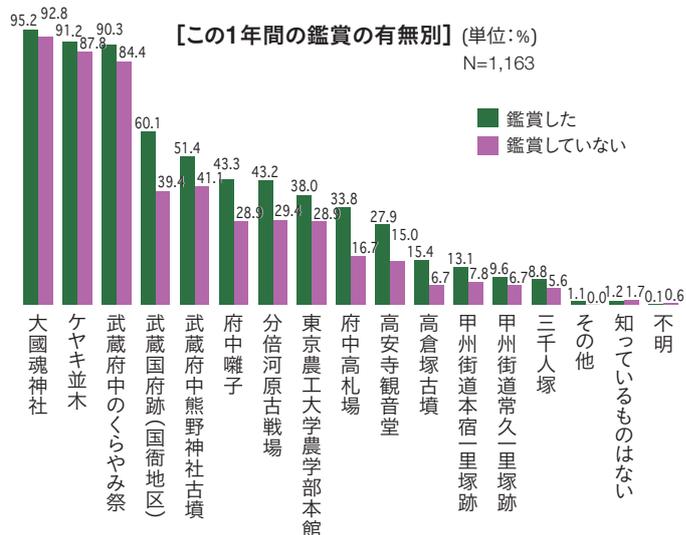
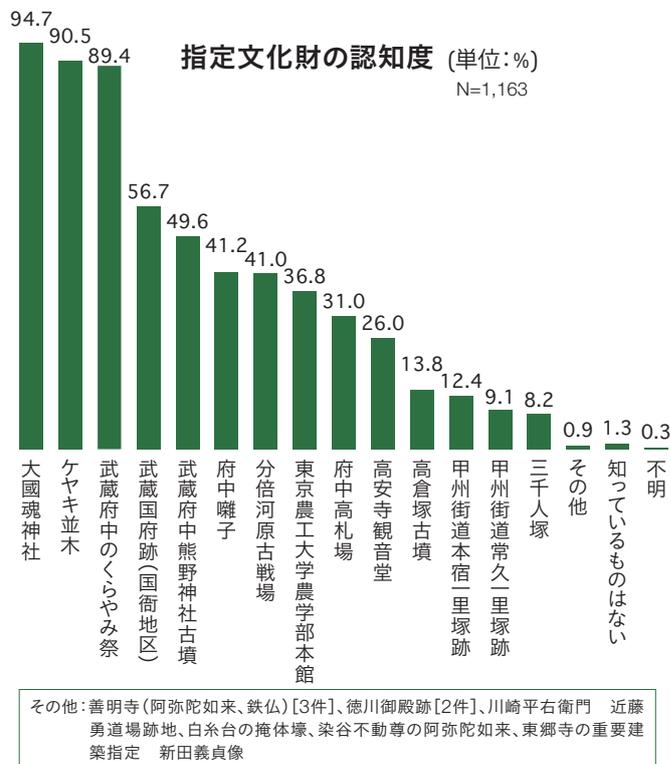


2) 市内の指定文化財の認知度

問3

市内にある指定文化財のうち、知っているものに○をつけてください。(あてはまるものの番号すべてに○)

全体では、「大國魂神社」が94.7%、「ケヤキ並木」が90.5%、「武蔵府中のくらやみ祭」が89.4%で、それぞれ9割前後と認知度が特に高い。「知っているものはない」と回答した人はわずか1.3%である。この1年間に文化芸術の催しを鑑賞していない人は、認知度が低い項目が多い。



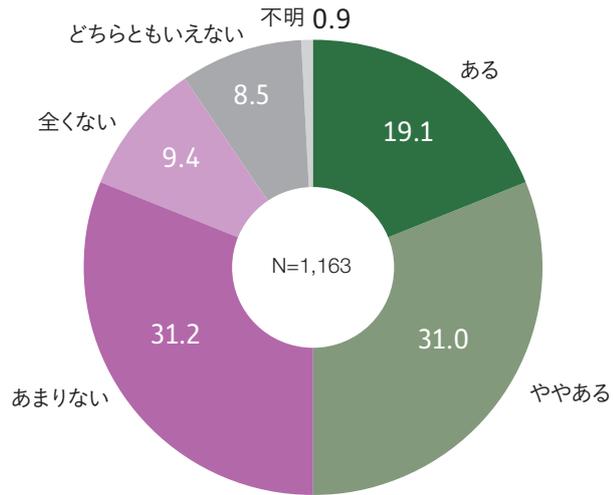
3) 史跡の整備についての関心度

史跡の整備についての関心度 (単位:%)

問4

あなたは、国史跡武蔵国府跡(国司館地区：府中市本町1-14 JR府中本町駅前)などの史跡の整備について関心がありますか。(1つに○)

全体では、「ある」が19.1%、「ややある」が31.0%で、合わせて50.1%と約半数が史跡の整備について関心があると回答している。一方、「あまりない」は31.2%、「全くない」は9.4%で、合わせると関心のない人は40.6%である。



4) 地域の伝統文化や文化財の関心を高める取組

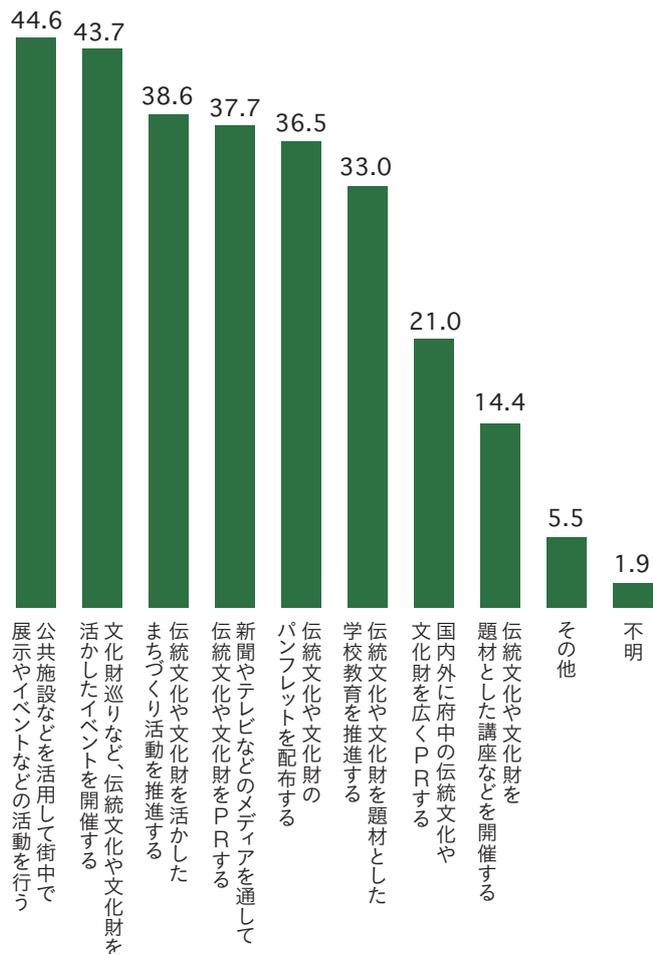
地域の伝統文化や文化財の関心を高める取組 (単位:%)

N=1,163

問5

今後、多くの市民に、地域の伝統文化や文化財へ関心をもってもらうには、どのような取組があればよいと思いますか。(あてはまるものの番号すべてに○)

全体では、「公共施設などを活用してまちなかで展示やイベント等の活動を行う」が44.6%、「文化財巡りなど、伝統文化や文化財を活かしたイベントを開催する」が43.7%で、共に4割を超えて多い。



その他：イベント(スタンプラリー、遠足、ツアー、講演会、くらやみ祭との連携など)を開催する[20件]、webによる発信(ホームページ、YouTube、SNS全般など)を充実させる[15件]、既存のメディア(広報ふちゅう、駅のポスター、J:COMなど)を活用する[9件]、PRグッズ・ソフトを充実させ、活用する(かるた、map、ストラップ、お菓子、グルメ、ゆるキャラなど)[6件]、まちや駅の整備[2件]、その他[5件]

文化・芸術に関する活動について

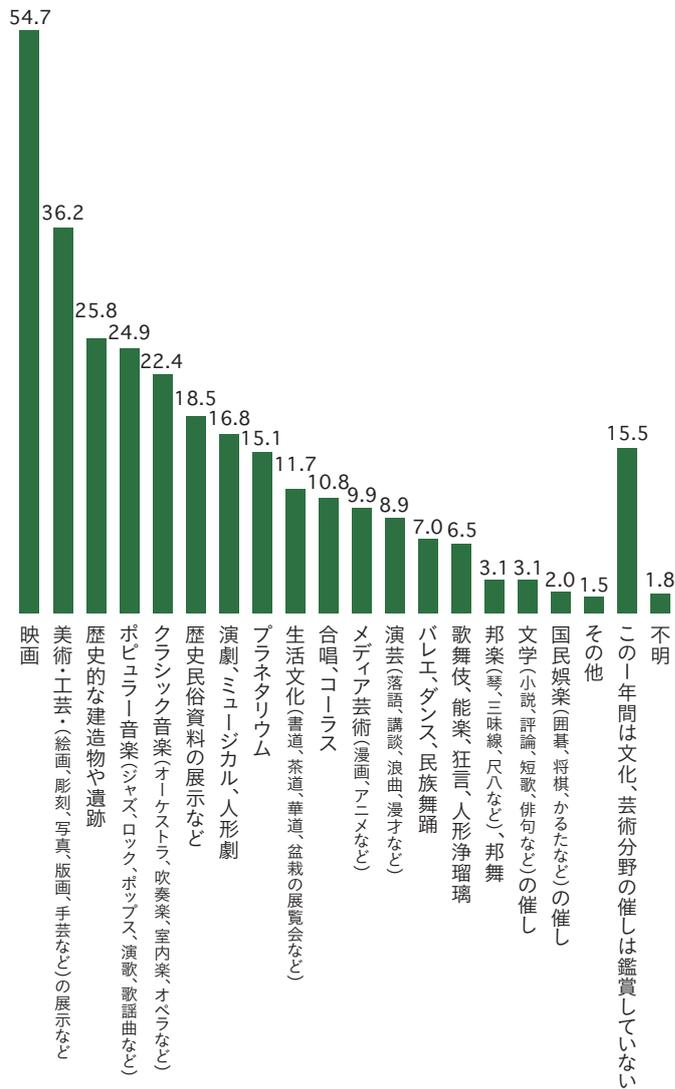
1) この1年間の文化・芸術分野の催しの鑑賞状況

この1年間の文化・芸術分野の催しの鑑賞状況 (単位:%)
N=1,163

問6

あなたは、この1年間に、どのような文化・芸術分野の催しを鑑賞しましたか。(あてはまるものの番号すべてに○)

全体では、この1年間に何らかの文化・芸術分野の催しを鑑賞した人(全体から「この1年間は文化・芸術分野の催しを鑑賞していない」と「不明」を除いた割合)は82.7%である。鑑賞したジャンルをみると、最も多いのは「映画」の54.7%で、以下、「美術・工芸(絵画・彫刻・写真・版画・手芸などの展示など)」36.2%、「歴史的な建造物や遺跡」25.8%、「ポピュラー音楽(ジャズ・ロック・ポップス・演歌・歌謡曲など)」24.9%、「クラシック音楽(オーケストラ、吹奏楽、室内楽、オペラなど)」22.4%の順となっている。この1年間に文化・芸術活動を行った人は、「この1年間は文化・芸術分野の催しを鑑賞していない」が4.3%とわずかである。



その他: カラオケ [2件]、和太鼓 [2件]、府中囃子 [2件]、JAZZ in FUCHU、アートアクアリウム、海外の伝統芸能、芸人のフェスタ、現代美術のインスタレーションの展示、蚤の市、布博、法隆寺夏期大学、歴史的スターの展示会 など

【この1年間の文化・芸術活動の有無別鑑賞率】



2) この1年間に文化・芸術分野の催しを鑑賞した場所

問7

【問6で「この1年間は文化・芸術分野の催しは鑑賞していない」以外に○をつけた方】
次にあげる地域のうち、鑑賞した場所はどこですか。(あてはまるものの番号すべてに○)

全体では、「市内」が最も多く74.2%、次いで「東京23区内」が56.9%、「近隣の多摩地区」が32.2%となっている。

この1年間に文化・芸術分野の催しを鑑賞した場所

(単位：%)
n=962



その他：埼玉県[4件]、神奈川県[3件]、その他[12件]

3) この1年間に文化・芸術分野の催しを鑑賞しなかった理由

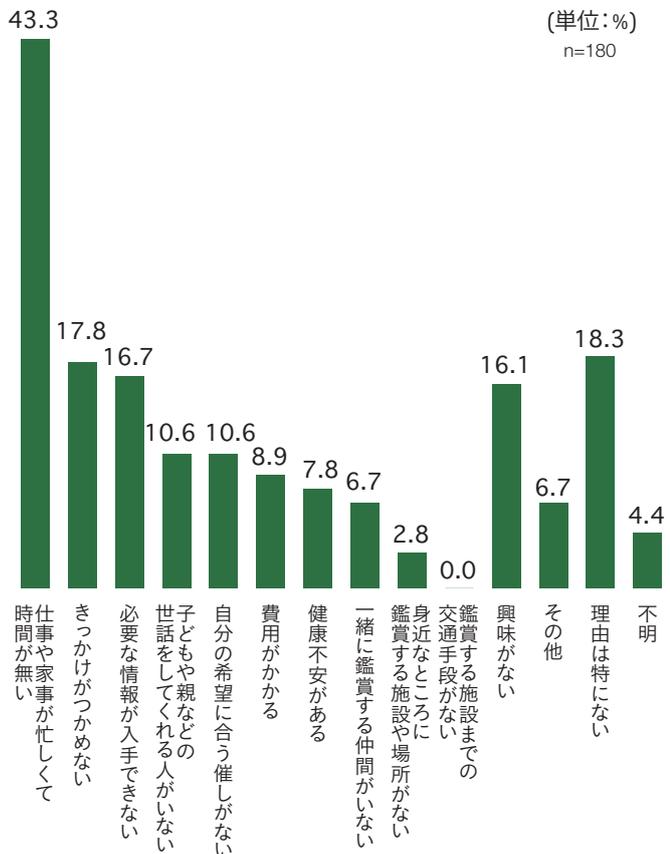
問8

【問6で「この1年間は文化・芸術分野の催しは鑑賞していない」に○をつけた方】
この1年間に鑑賞しなかった理由はなんですか。(あてはまるものの番号すべてに○)

この1年間に文化・芸術分野の催しを鑑賞していない人にその理由を尋ねたところ、全体では、「仕事や家事が忙しくて時間がない」が43.3%と大きな不安要因になっており、次いで「きっかけがつかめない」17.8%、「必要な情報が入手できない」16.7%となっている。「理由は特にない」18.3%、「興味がない」16.1%と「不明」4.4%を除くと、61.2%と6割以上の方が何らかの不安要因があって鑑賞できていない結果となった。

この1年間に文化・芸術分野の催しを鑑賞しなかった理由

(単位：%)
n=180



その他：家族の介護や世話があるため[7件]、高齢のため[4件]、他にやることがあるため[4件]

4) この1年間の文化・芸術活動の実施率

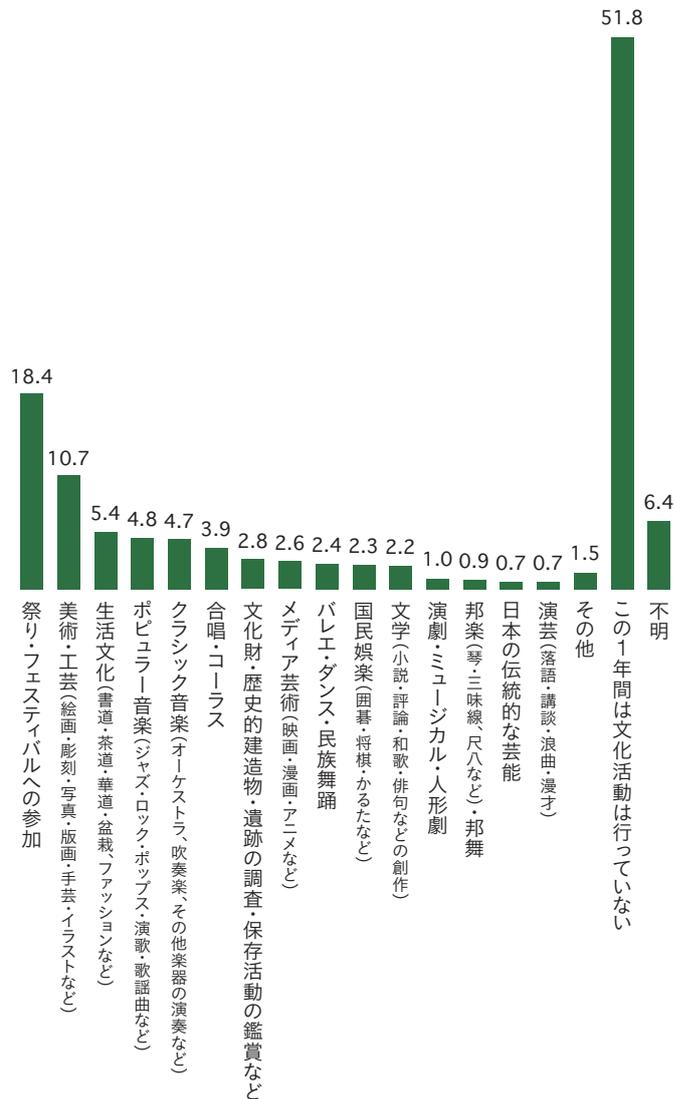
問9

あなたは、この1年間に、どのような文化・芸術活動を行いましたか。(あてはまるものの番号すべてに○)

全体では、「この1年間は文化活動は行っていない」が51.8%で、半数以上が文化・芸術活動を行っていないという結果であった。活動を行っている人の活動ジャンルは、「祭り・フェスティバルへの参加」が18.4%、「美術・工芸(絵画・彫刻・写真・版画・手芸・イラストなど)」が10.7%で、それ以外のジャンルは1割に満たない。

この1年間の文化・芸術活動の実施率 (単位: %)

N=1,163



その他: 海外文化視察、文化財のボランティア、神社・寺院巡り、能楽・謡、カラオケ、居合 など

5) 文化・芸術活動を行う環境の満足度

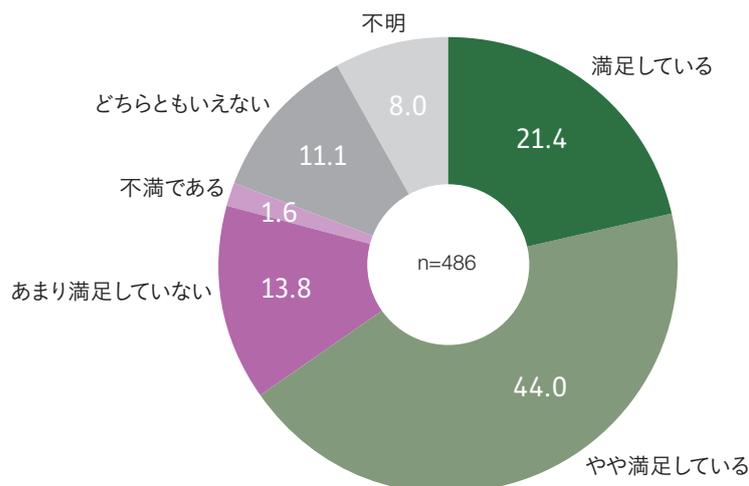
問10

【問9で「この1年間は文化活動は行っていない」以外に○をつけた方】

ご自身の文化・芸術活動を行う環境に対して満足していますか。(1つに○)

この1年間に文化・芸術活動を行った人に、活動を行う環境について尋ねたところ、全体では、「満足している」が21.4%、「やや満足している」が44.0%で、合わせて65.4%が満足しているという結果であった。一方、「あまり満足していない」13.8%と「不満である」1.6%を合わせると、15.4%が不満を持っている。

文化・芸術活動を行う環境の満足度 (単位:%)



6) 文化・芸術活動を行う環境に対する不満理由

問11

【10で「あまり満足していない」または「不満である」に○をつけた方】

「あまり満足していない」「不満である」と思われる理由は何ですか。自由にご記入ください。(自由記入)

文化・芸術活動を行う環境に満足していない人にその理由を尋ねたところ、最も多かったのは「時間がない/忙しい」23件で、「活動の機会が少ない/参加しにくい/折り合いがつかない」が20件、「練習場所・発表の場所が少ない/自分がしたい活動の場所が遠い」が12件で多く回答されている。

文化・芸術活動を行う環境に対する不満の理由(上位5件)

順位	不満の理由	件数
1	時間がない/忙しい	23
2	活動の機会が少ない/参加しにくい/折り合いがつかない	20
3	練習場所・発表の場所が少ない/自分がしたい活動の場所が遠い	12
4	気持ちはあるがどうしていいかわからない	6
5	自分の経済的な理由	3
	自分が関心がない	3
	健康不安	3

7) この1年間に文化・芸術活動を行わなかった理由

問12

【問9で「この1年間は文化活動は行っていない」に○をつけた方】

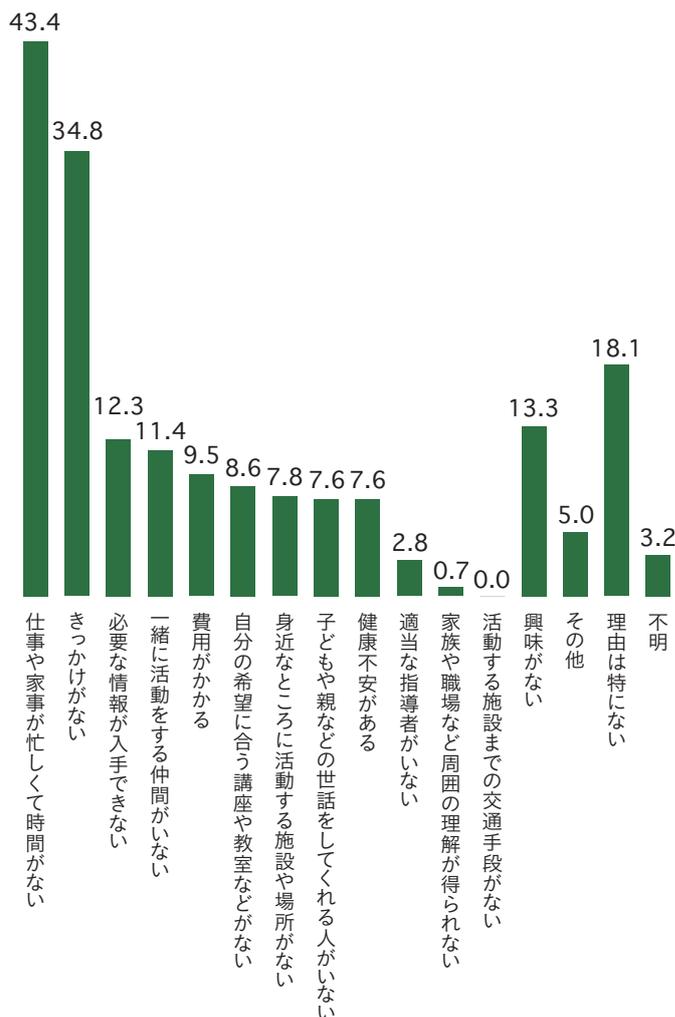
この1年間に文化活動を行わなかった理由は何ですか。(あてはまるものの番号すべてに○)

全体では、この1年間に文化・芸術活動を行わなかった人のうち、何らかの不安要因があって活動できなかった人(「興味がない」「理由は特にならない」「不明」を除いた割合)は65.4%である。

その理由は、「家事や仕事が忙しくて時間がない」が43.4%、「きっかけがない」が34.8%で、この2項目が大きな不安要因であることが分かる。以下、「必要な情報が入手できない」12.3%、「一緒に活動をする仲間がいない」11.4%で、それ以外の不安要因は1割未満となっている。

この1年間に文化・芸術活動を行わなかった理由 (単位:%)

n=603



その他: 家族の介護や世話があるため [13件]、文化以外の趣味や他にやることがあるため [8件]、体が不自由なため [5件]、鑑賞するほうが好きだから [2件] など

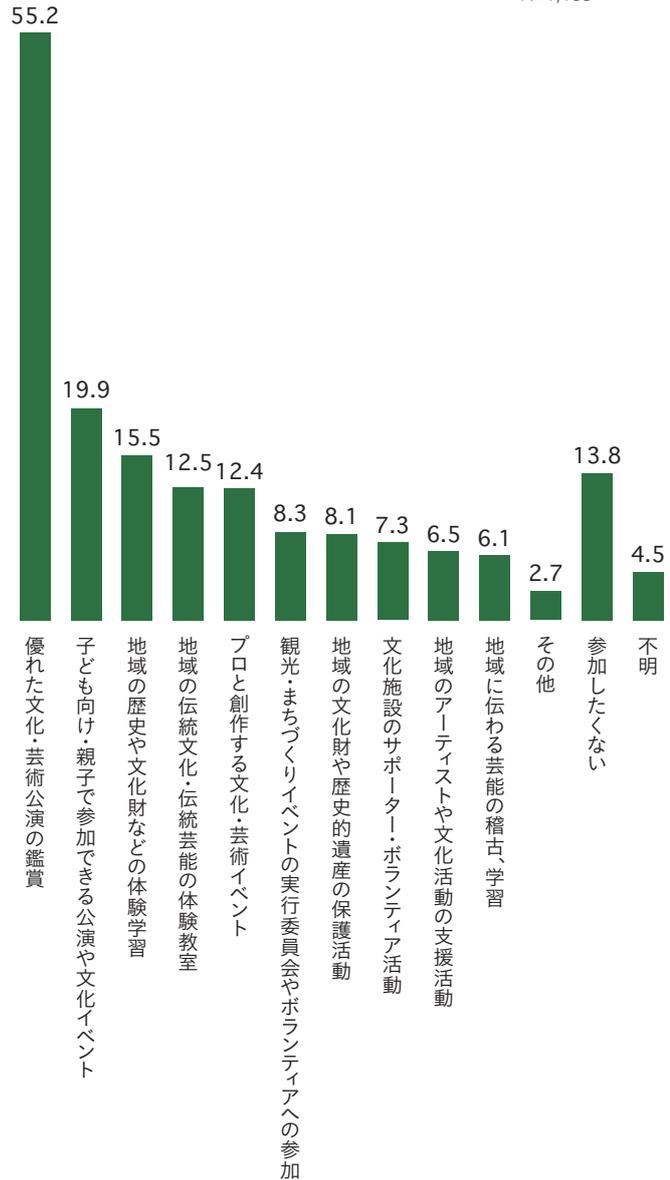
8) 今後参加したい文化・芸術活動

今後参加したい文化・芸術活動 (単位:%)
N=1,163

問13

今後、どのような文化・芸術活動に参加したいと思いますか。(あてはまるものの番号すべてに○)

全体では、最も多いのは「優れた文化・芸術公演の鑑賞」55.2%で半数を超える。以下、「子ども向け・親子で参加できる公演や文化イベント」19.9%、「地域の歴史や文化財などの体験学習」15.5%、「地域の伝統文化・伝統芸能の体験教室」12.5%、「プロと創作する文化・芸術イベント」12.4%が1割以上となっている。「参加したくない」13.8%と「不明」4.5%を除くと、81.7%が何らかの文化・芸術活動への参加意向があることが分かる。



その他: 特色のあるイベント [7件]、アーティストやボランティアとして [3件]、健康・老化防止に関連する活動 [2件]、祭り [2件]

文化施設の利用について

1) 文化施設・コミュニティ施設の利用率

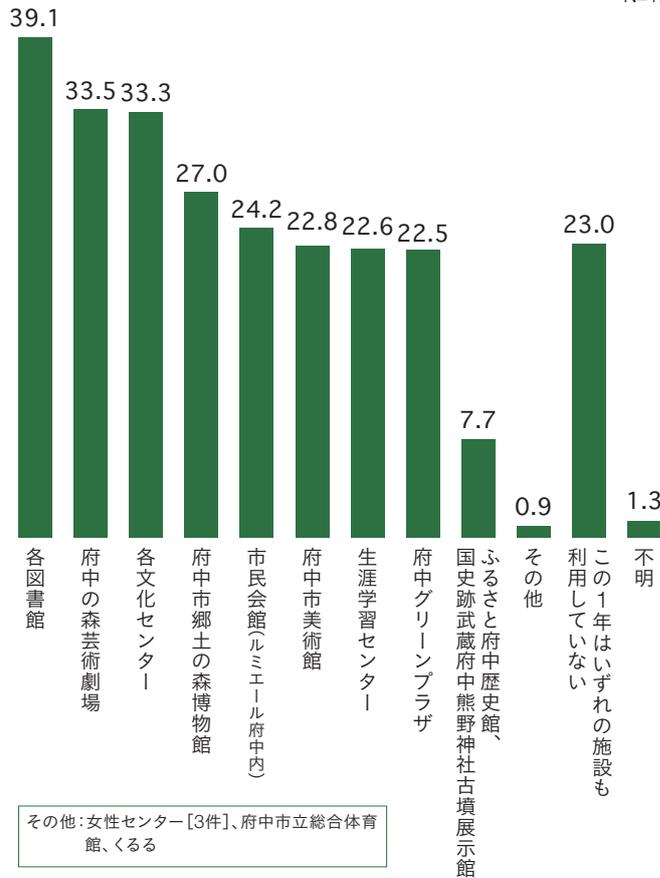
問14

この1年間に、市内文化施設・コミュニティ施設を利用しましたか。(あてはまるものの番号すべてに○)

全体では、「この1年間はいずれの施設も利用していない」は23.0%で、75.7%はいずれかの市内文化施設・コミュニティ施設を利用している。最も多いのは、「各図書館」39.1%で、以下、「府中の森芸術劇場」33.5%、「各文化センター」33.3%、「府中市郷土の森博物館」27.0%、「市民会館(ルミエール府中内)」24.2%と続く。

この1年間の文化施設・コミュニティ施設の利用率(単位:%)

N=1,163



2) 文化施設・コミュニティ施設の利用目的

問15

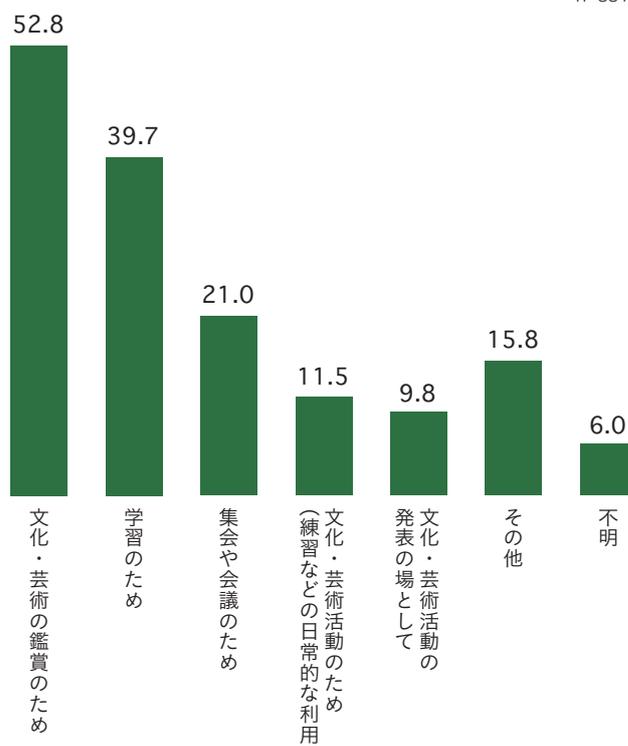
【問14で「この1年間はいずれの施設も利用していない」以外に○をつけた方】

どのような目的で利用しましたか。(あてはまるものの番号すべてに○)

全体では、「文化・芸術の鑑賞のため」が最も多く52.8%と半数を超えている。次いで「学習のため」が39.7%、「集会や会議のため」が21.0%となっている。文化・芸術活動のためや文化・芸術活動の発表の場としての利用は、それぞれ1割前後である。

文化施設・コミュニティ施設の利用目的(単位:%)

n=881



その他: 図書館の利用・読書のため[28件]、運動施設(プール・ジム等)の利用のため[25件]、証明書・住民票の取得や公的な手続きのため[17件]、イベントへの参加のため[16件]、子どもの付き添い(遊び、学習など)で[15件]、健康診断のため[3件] など

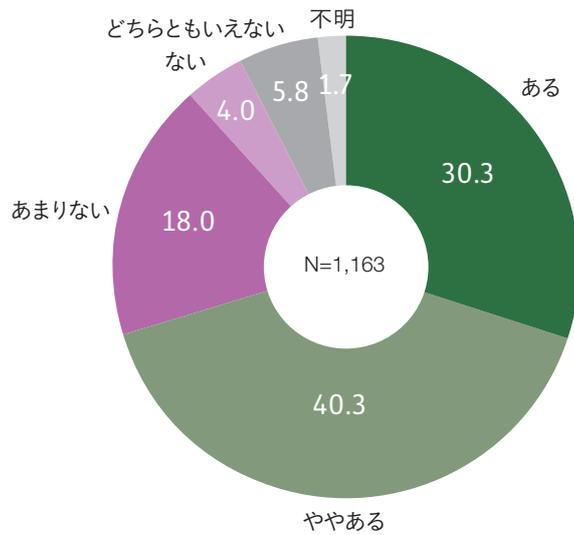
3) 市内文化施設の催しへの 興味・関心

問16

市内の文化施設で行われて
いる催しについて興味・関心
がありますか。(1つに○)

全体では、「ある」が30.3%、
「ややある」が40.3%で、合
わせて70.6%が興味・関心をも
っている。一方、「あまりない」
は18.0%、「ない」は4.0%で、
22.0%は興味・関心がない。

市内文化施設の催しへの興味・関心 (単位:%)



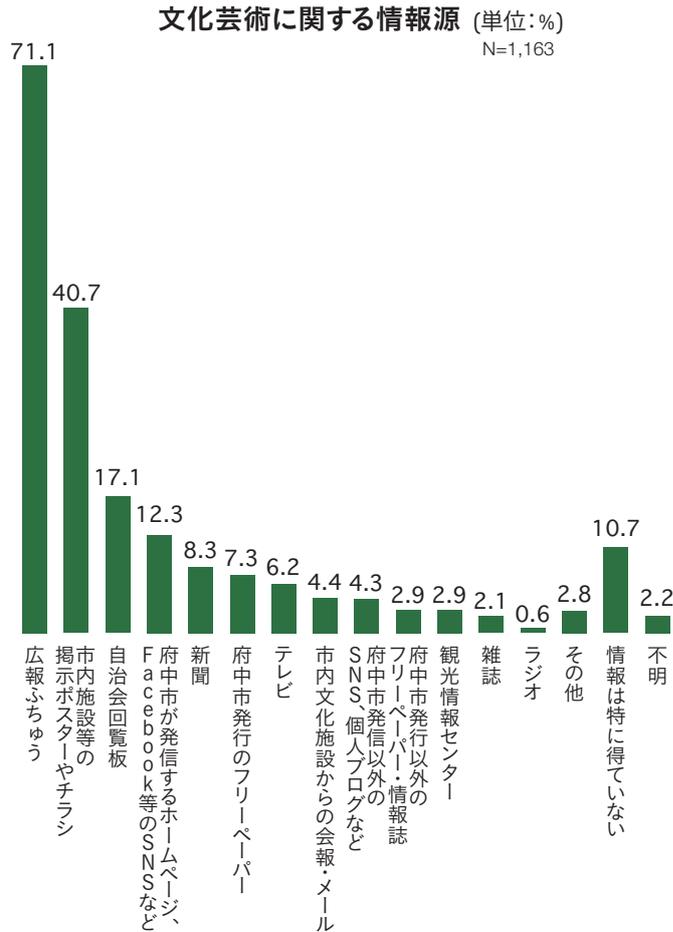
文化・芸術に関する情報について

1) 文化芸術に関する情報源

問17

市内で行われる文化・芸術分野の催しや文化活動に関する情報を何から得ていますか。(あてはまるものの番号すべてに○)

全体では、「広報ふちゅう」が71.1%で最も多く、次いで「市内施設等の掲示ポスターやチラシ」が40.7%で、この2つを情報源としている人が多くなっている。以下、「自治会回覧板」が17.1%、「府中市が発信するホームページ、Facebook等のSNSなど」が12.3%で、それ以外はそれぞれ1割未満となっている。



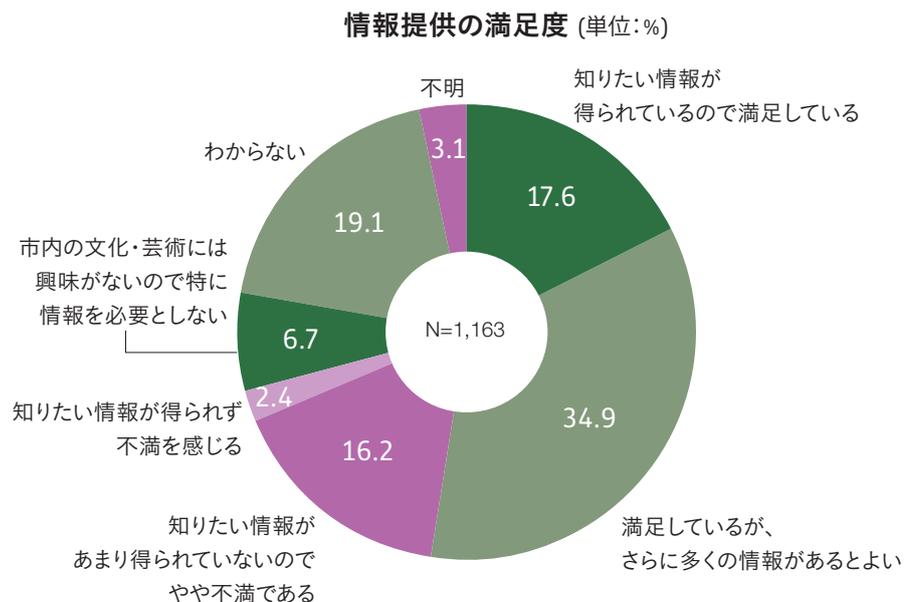
その他：インターネット（府中市のメールサービス、主催者のメールサービスなど）[12件]、家族や友人知人からの口コミ [5件]、駅のポスターや電車・バスの中吊り広告 [6件]、まちなかの掲示板 [5件]、学校で配布されるチラシ [2件] など

2) 情報提供の満足度

問18

市内で行われる文化・芸術分野の催しや文化活動に関する情報提供に対して、満足していますか。(1つに○)

全体では、「知りたい情報が得られているので満足している」が17.6%、「満足だが、さらに多くの情報があるとよい」が34.9%で、合わせると52.5%となり、半数以上が満足だと感じている。一方、「知りたい情報があまり得られていないのでやや不満である」は16.2%、「知りたい情報が得られず不満を感じる」が2.4%で、合わせると18.6%となり、不満を感じている人も2割弱いることが分かる。



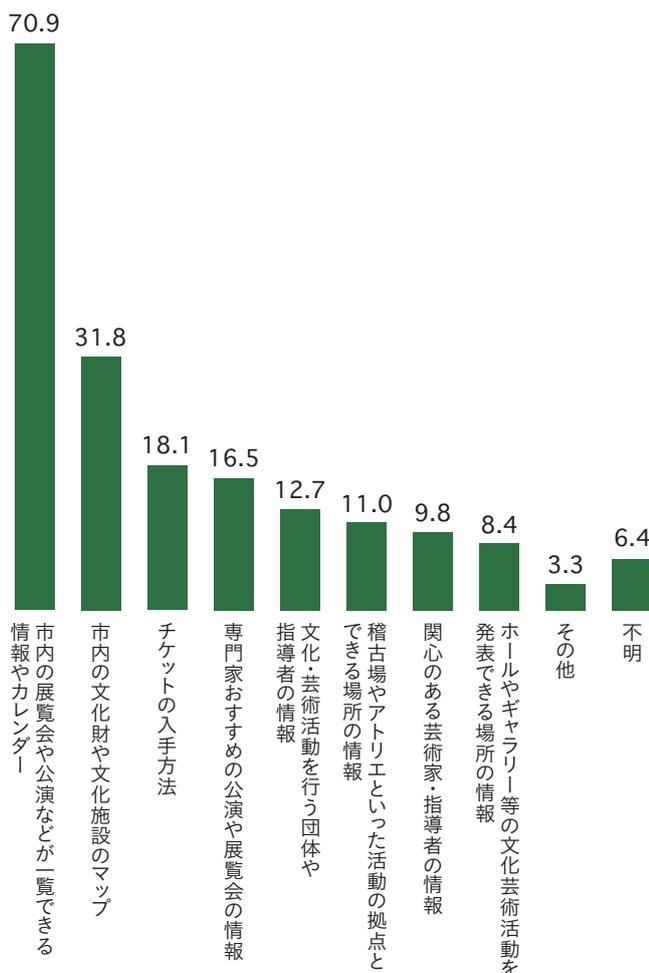
3) 文化・芸術活動や参加のために必要な情報

文化・芸術活動や参加のために必要な情報 (単位:%)
N=1,163

問19

どのような情報があれば、もっと多くの市民が文化芸術活動を行ったり、参加することができると思いますか。(あてはまるものの番号すべてに○)

全体では、「市内の展覧会や公演などが一覧できる情報やカレンダー」が70.9%で最も多く、次いで「市内の文化財や文化施設のマップ」が31.8%、「チケットの入手方法」が18.1%、「専門家おすすめの公演や展覧会の情報」が16.5%となっている。



その他:WEB媒体の活用[7件]、紙媒体の活用[7件]、1回無料券の配布[3件] など

4) あればよいと思う情報・お知らせ方法

問20

問19で答えた情報のほかに、あればよいと思う情報やお知らせ方法があれば、ご記入ください。(自由記入)

「公共施設、公共交通機関、コンビニエンスストア・スーパーなどで情報発信」が18件、「ホームページ、SNS、Instagramなどで情報発信」が16件、「必要とする情報を見つけやすくする」が11件、「各家庭に紙媒体を配布」が10件で、特に多く意見が寄せられた。

あればよいと思う情報・お知らせ方法(上位5位)

順位	あればよいと思う情報・お知らせ方法	件数
1	公共施設、公共交通機関、コンビニエンスストア・スーパーなどで情報発信	18
2	ホームページ、SNS、Instagramなどで情報発信	16
3	必要とする情報を見つけやすくする	11
4	各家庭に紙媒体を配布	10
5	必要な情報(親子で参加できる体験イベント、府中を歩くイベント、遺跡をめぐるツアーなど)	7

府中市の文化・芸術について

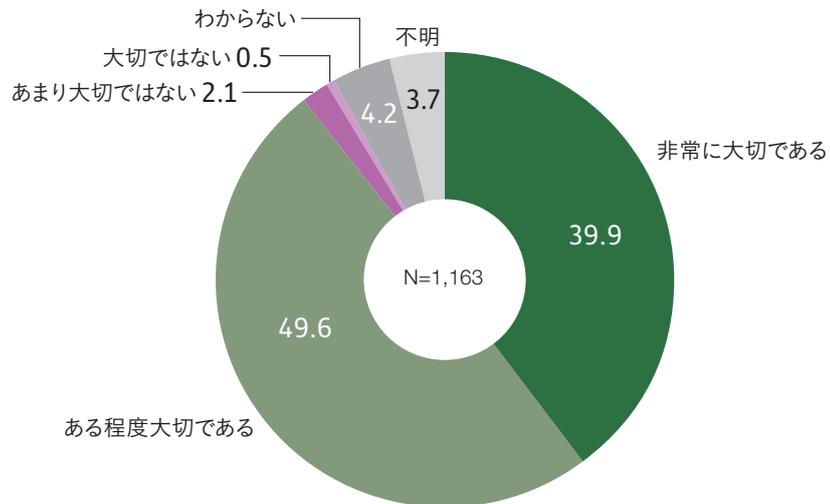
1) 文化・芸術体験や実施の大切さ

文化・芸術体験の大切さ (単位:%)

問21

あなたは、文化・芸術を体験することや行うことは大切だと思いますか。(1つに○)

全体では、「非常に大切である」が39.9%、「ある程度大切である」が49.6%で、合わせると89.5%が文化・芸術体験や実施は大切だと考えている。一方、「あまり大切ではない」は2.1%、「大切ではない」は0.5%で、大切でないと考える人は2.6%である。



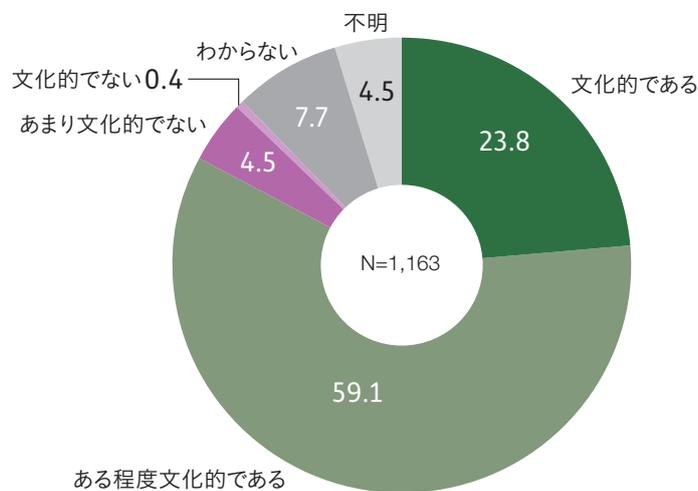
2) 文化的なまちという意識

府中市は文化的なまちか (単位:%)

問22

府中市を文化的なまちだと思いますか。(1つに○)

全体では、「文化的である」が23.8%、「ある程度文化的である」が59.1%で、合わせると82.9%が府中市は文化的だと思っている。一方、「あまり文化的でない」は4.5%、「文化的でない」は0.4%で、あわせると、文化的でないと思う人は4.9%である。

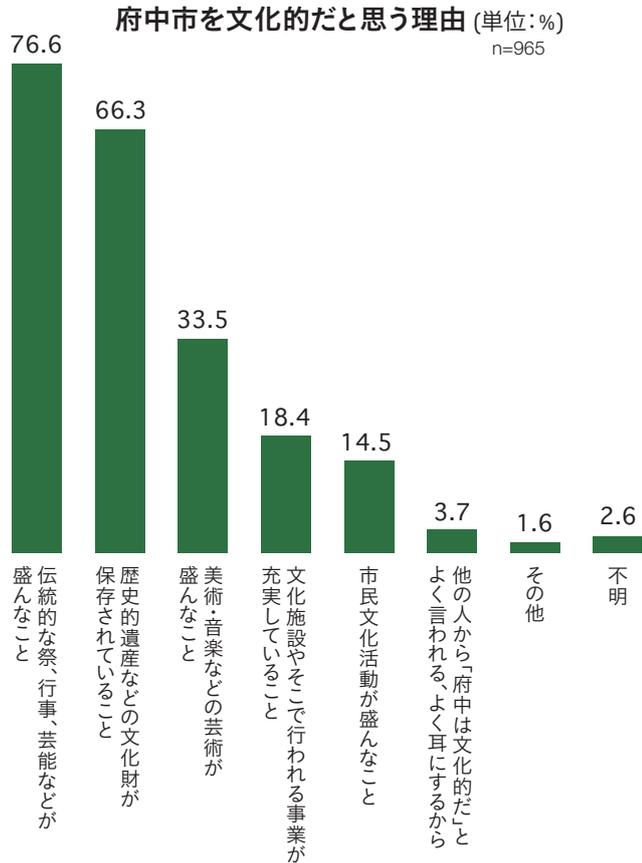


3) 府中市を文化的だと思う理由

問23

【問22で「文化的である」または「ある程度文化的である」に○をつけた方】
「文化的である」「ある程度文化的である」と思われる理由はなんですか。(あてはまるものの番号すべてに○)

全体では、「伝統的な祭、行事、芸能などが盛んなこと」が76.6%、「歴史的遺産などの文化財が保存されていること」が66.3%で、この2つが府中市を文化的だと思う大きな理由となっている。



その他：町ごとのイベントが非常に活発、歴史がある、非文化的な要因はない、以前に市長が府中を合唱のまちにと言っていた など

4) 府中市を文化的ではないと思う理由

問24

【問22で「文化的でない」または「あまり文化的でない」に○をつけた方】
「文化的でない」「あまり文化的でない」と思われる理由があれば、自由にご記入ください。(自由記入)

「関心がない／知らない」「広報・PR・アピール・説明不足」がそれぞれ10件で、府中市を文化的でないと思う理由として最も多く回答されている。

府中市を文化的でないと思う理由(上位5件)

順位	文化的でないと思う理由	件数
1	関心がない／知らない	10
	広報・PR・アピール・説明不足	10
2	施設(ハード)、施設の立地、講座等(ソフト)への要望	8
3	行事のマンネリ化／組織が閉鎖的／日本的なものが多く若者向きではない	7
	まちのイメージが違う／商業的など	7

5) 府中の文化的シンボル

問25

府中の文化的シンボルと聞いて連想するものはなんですか。自由にご記入ください。
(自由記入)

「大國魂神社」504件、「くらやみ祭」258件が特に多く、以下「ケヤキ並木」、「府中の森芸術劇場」が100件を超えて回答されている。

府中市の文化的シンボル(上位10件)

順位	府中の文化的シンボルと聞いて連想するもの	件数
1	大國魂神社	504
2	くらやみ祭	258
3	ケヤキ並木	147
4	府中の森芸術劇場	126
5	府中市美術館	58
6	競馬場	36
7	古墳・遺跡(熊野神社・高倉塚古墳 八幡神社 分倍河原古戦場 武蔵国府跡 古戦場)	29
8	郷土の森	28
9	祭り	18
10	府中の森公園	13

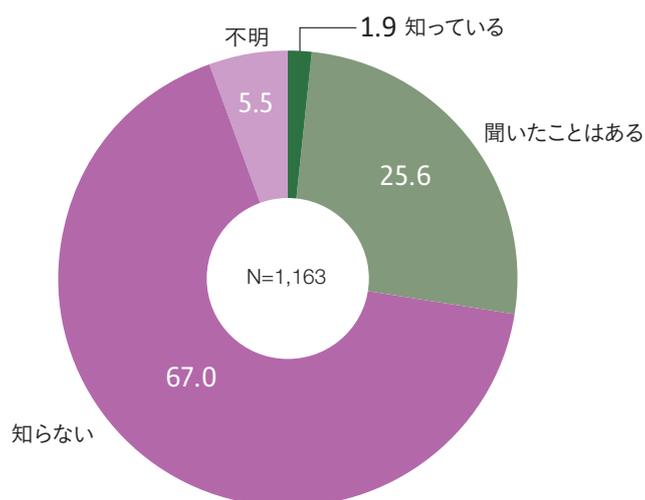
6) 「府中市文化振興計画」の認知率

問26

「府中市文化振興計画」を知っていますか。(1つに○)

全体では、「知っている」が1.9%、「聞いたことはある」が25.6%で、最も多いのは「知らない」67.0%であった。

「府中市文化振興計画」の認知率(単位:%)



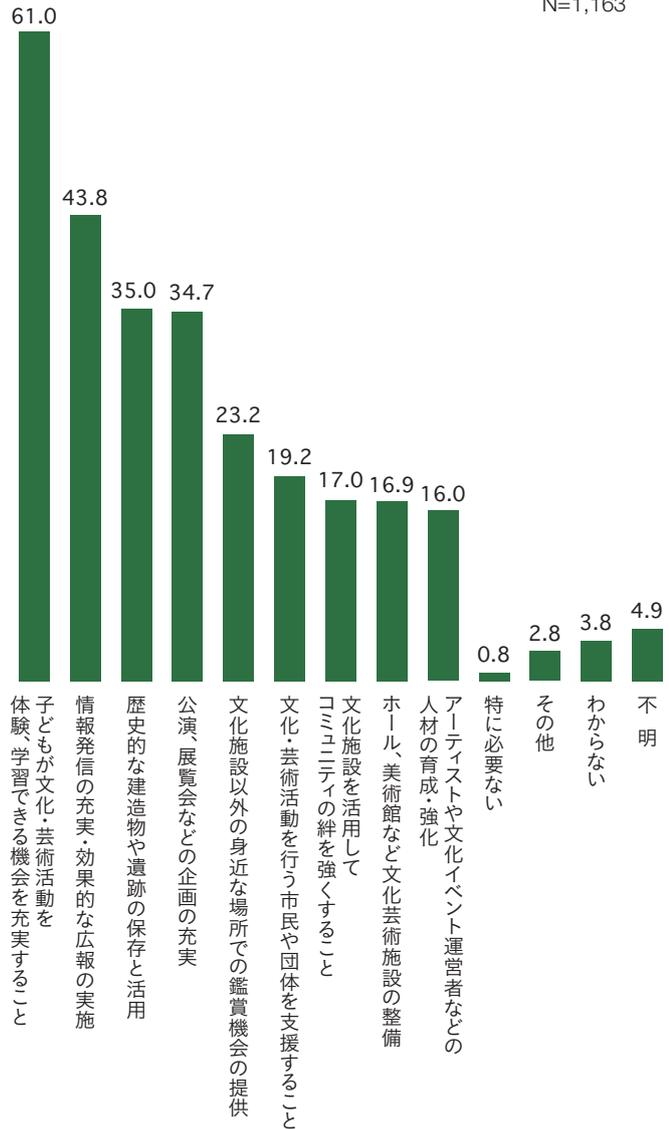
7) 府中市を文化・芸術の面で魅力的なまちにするために必要な取組

問27

府中市を文化・芸術の面でよりよいまち、魅力的なまちにするためどのような取組があればよいと思いますか。(あてはまるものの番号すべてに○)

全体では、「子どもが文化・芸術活動を体験、学習できる機会を充実すること」が61.0%で最も多く、次いで「情報発信の充実・効果的な広報の実施」が43.8%、「歴史的な建造物や遺跡の保存と活用」が35.0%、「公演、展覧会などの企画の充実」が34.7%で、それぞれ3割以上となっている。「特に必要ない」という回答は0.8%とわずかであった。

府中市を文化・芸術の面で魅力的なまちにするために必要な取組 (単位:%)
N=1,163



その他:文化・芸術に関わる場や機会の拡大・提供[6件]、対外的にアピールするような情報発信[5件]、特色あるイベントの実施[5件]、市の取組に期待[4件]、施設の改善(アクセス、老朽化対応など)[2件] など

文化プログラムについて

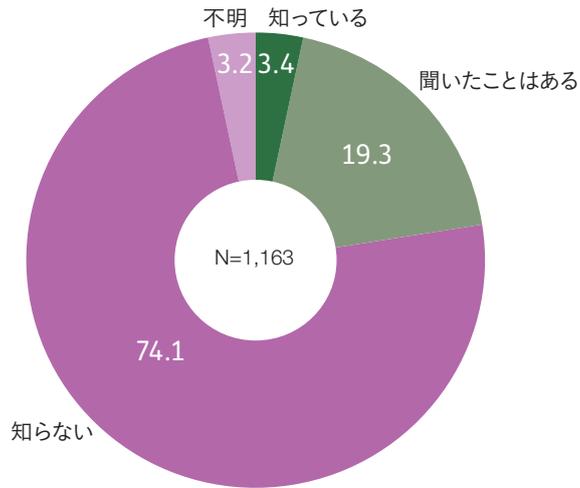
1) 文化プログラムの認知率

問28

文化プログラムについて、知っていましたか。(1つに○)

全体では、「知っている」が3.4%、「聞いたことはある」が19.3%で、「知らない」が74.1%と大半を占めており、文化プログラムの認知率はまだ低い状態であることが分かる。

文化プログラムの認知度 (単位:%)



2) 活発な文化イベント実施により期待すること

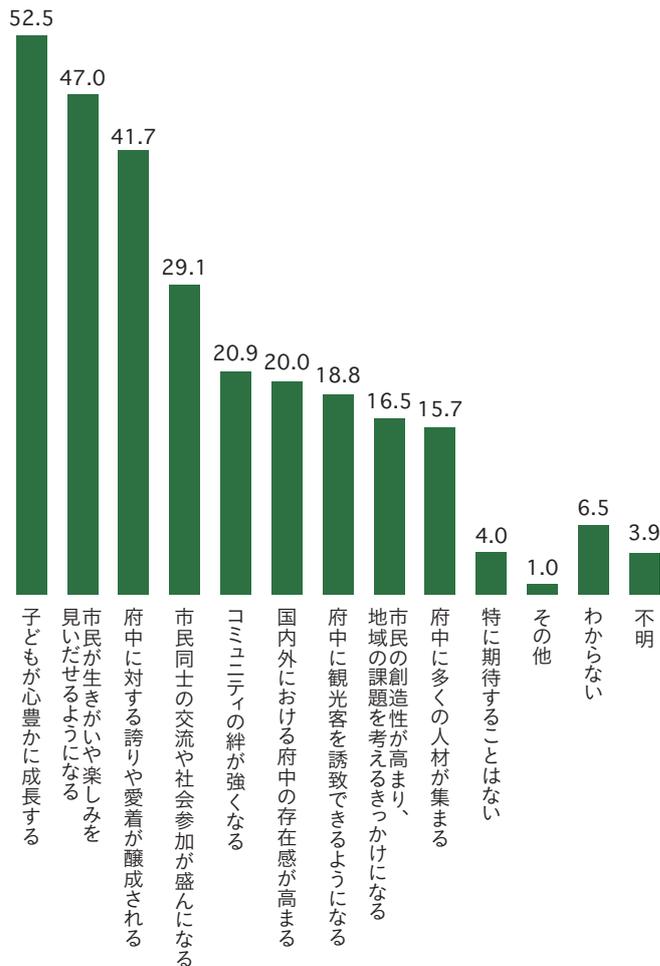
問29

文化プログラムの実施など、文化イベントが活発に行われることにより、期待することがありますか。(あてはまるものの番号すべてに○)

全体では、「子どもが心豊かに成長する」が52.5%で半数を超えて多く、「市民が生きがいや楽しみを見いだせるようになる」が47.0%、「府中に対する誇りや愛着が醸成される」が41.7%と4割を超えている。「特に期待することはない」は4.0%とわずかである。

文化イベントが活発に行われることで期待すること (単位:%)

N=1,163



その他: お金が集まる、府中のイメージが良くなる、府中を世界にアピールするきっかけにできる など

府中市の文化・芸術に関する取組について

府中市の文化・芸術に関する取組へのご意見

問30

その他、府中市の文化・芸術に関する取組に関してご意見があればご記入ください。
(自由記入)

最も記入が多かったのは「既存の文化・芸術施設、コミュニティ施設について」35件、次に「文化・芸術関連のイベント、教室、講座などについて」33件、以下「府中市の文化・芸術に関する取組全般について」26件、「府中の魅力発信、情報発信、広報などについて」22件、「子どもと文化・芸術体験について」18件、「文化・芸術施設全般や文化・芸術活動の環境等について」と「府中の歴史、文化財、伝統文化について」がそれぞれ13件、「府中市ゆかりのアーティストや人材の活用・育成について」10件、「文化・芸術と観光について」と「今回のアンケートについて」がそれぞれ7件であった。

府中市の文化・芸術に関する取組へのご意見(上位10件)

順位	ご意見	件数
1	既存の文化・芸術施設、コミュニティ施設について	35
2	文化・芸術関連のイベント、教室、講座などについて	33
3	府中市の文化・芸術に関する取組全般について	26
4	府中の魅力発信、情報発信、広報などについて	22
5	子どもと文化・芸術体験について	18
6	文化・芸術施設全般や文化・芸術活動の環境等について	13
	府中の歴史、文化財、伝統文化について	13
7	府中市ゆかりのアーティストや人材の活用・育成について	10
8	文化・芸術と観光について	7
	今回のアンケートについて	7

府中市
文化芸術
推進計画
2018-2025

Fuchu City
Culture and the Arts
Initiative

発行日	平成30年3月
編集・発行者	府中市文化スポーツ部文化生涯学習課
	〒183-0056
	東京都府中市寿町1丁目5番地
電話	042(364)4111(代表)／042(335)4464(直通)
FAX	042(365)3593
HP	http://www.city.fuchu.tokyo.jp

Fuchu City
Culture and the Arts
Initiative
2018-2025

